

令和4年度【令和3年度事業】

# 砥部町教育委員会点検評価報告書



四 国 砥 部  
えひめ TOBE

令和4年9月

砥部町教育委員会

## I 砥部町教育大綱

誇りある地域、そして住み続けたいと思う魅力的なまちづくりを進めるためには、人づくりが大切です。本町に暮らす住民が、まちの現在と未来を担う大切な「力」であり、教育はその「力」を育む最も重要な営みです。

砥部町では、「まちづくり」は「人づくり」であるという理念に基づき、本町に暮らす住民一人ひとりが様々な学習や活動、交流を通じてお互いの基本的人権を尊重し、互いに学び合い高め合うまちを目指し、平成30年度から5年間の教育行政の方向を示す『第2次砥部町教育大綱』を策定しています。

大綱では、分野別に目標を設定し、目標実現に向けた政策方針、主要施策を次のとおり定め、学校・家庭・地域の連携体制を構築し、地域の文化や歴史、施設、人材など、地域の資源を最大限に活用した、生涯にわたり学び続けることのできる学習環境の整備を進めます。



### 子ども・教育分野



目標 1.未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します。

#### ■政策1 子育て家庭を支援し、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進します。

子どもの健やかな成長を第一に考え、乳児保育、延長保育及び一時保育など、子育て支援事業の実施により、多様なニーズに対応できる保育サービスの充実を図り、子どもを産み育てやすい環境を整備します。

#### ■政策2 学校・家庭・地域が連携し、子どもの生きる力を育む環境づくりを推進します。

子どもたちが自らの力で未来へはばたくことができるよう、豊かな人間性や確かな学力、健やかな体などを育む教育を進めます。

#### 主要施策

- ① 子どもを産み育てやすい環境整備
- ② 子どもの健やかな成長支援の充実
- ③ 生きる力を育む教育の推進
- ④ 教育力の向上
- ⑤ 安全・安心の充実した教育環境の整備



目標 2.身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。

■政策1 地域で学ぶ生涯学習環境の整備を推進します。

生涯にわたって学び自己啓発を続けようとする意識の高まりに応じて、学ぶことができる生涯学習推進体制の整備を推進します。

■政策2 多様な主体が活躍できる社会を推進します。

住民一人ひとりの人権が尊重され、差別のない誰もが暮らしやすい社会を実現するため、お互いの人権を尊重し、様々な人が地域で活躍できる地域づくりを目指します。

■政策3 郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境づくりを推進します。

歴史及び文化を次世代に継承するため、伝統芸能や文化の保存、継承及び創造を図るとともに、本町が誇る文化財や歴史を積極的に発信し、文化的交流を進めます。

主要施策

- ① ニーズに合わせた学習機会の充実
- ② 活動の場づくりと担い手の充実
- ③ 互いの人権を尊重する社会の構築
- ④ 男女共同参画の推進
- ⑤ 文化財保護と継承
- ⑥ 文化財の活用
- ⑦ 地域伝統文化の継承



## 文化・スポーツ分野



目標 3.文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。

### ■政策1 文化・芸術を楽しむ機会の拡大を推進します。

住民主体の文化・芸術活動の活発化を一層促進するため、一流指導者の確保や、文化協会をはじめとする各種文化・芸術団体及び地域における指導者の育成を図ります。

### ■政策2 スポーツを楽しむための支援を推進します。

生涯スポーツの振興と競技スポーツの向上など、住民一人ひとりが豊かな人生を送れるよう、スポーツを楽しむ機会の充実を図ります。

#### 主要施策

- ① 文化・芸術活動への参加促進
- ② 文化・芸術活動を通じた交流の推進
- ③ ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ④ 地域における指導者の確保及び育成
- ⑤ スポーツを通じた交流の拡大

## II 教育委員会の事務の点検・評価制度の概要

### 1 趣旨

砥部町教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定に基づき、その権限に属する事務の管理・執行状況について、毎年、点検・評価を行い、報告書を作成しています。

点検・評価の実施により、効果的・効率的な教育行政の推進を図り、変化する社会経済情勢に適確に対応するとともに、職員の意識改革の向上を図ります。

なお、点検・評価の実施にあたり、外部の学識経験者の知見を活用するとともに、報告書を議会に提出、公表することにより、町民への説明責任を果たし、信頼関係を確保することとしています。

《地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）》

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 点検・評価の対象

令和 3 年度の事務事業を対象とし、大きく次の 2 区分とします。

- (1) 教育委員が直接に関与、及び活動している事業を「教育委員会の活動状況」とします。
- (2) 教育委員会が管理・執行している事務事業及び教育長に委任している事務を「教育委員会における事務の管理・執行状況」とします。

なお、「教育委員会における事務の管理・執行状況」は、令和 3 年度の事務事業を点検・評価したもので、「砥部町教育大綱」に掲げる主要施策ごとに分類しています。

### 3 点検・評価の方法

---

#### (1) 教育委員会による点検・評価

対象となる事業の実施状況、成果、課題等をまとめ、その妥当性、有効性及び効率性を総合的に判断し、事業の評価及び次年度以降の方向性について、次のとおり自己評価を行いました。

評価	S	目標とする成果を大きく上回った。
	A	目標とする成果をやや上回った。
	B	概ね目標とする成果であった。
	C	目標とする成果をやや下回った。
	D	目標とする成果を大きく下回った。

方向性	拡大	施策上の必要性や住民ニーズにより、さらに拡大・充実を図るもの
	維持	現状どおり事業を継続させることが妥当なもの
	縮小	サービスの供給又は費用が課題となっており、適正化を図るもの
	廃止	施策上の必要性や住民ニーズが減少し、廃止が妥当なもの

#### (2) 外部有識者による点検・評価

自己評価実施後、その客観性を確保するために、教育に関し学識経験を有する金井宏之氏（元余土小学校長）に、主要施策別にご意見をいただきました。

### III 教育委員会の活動

#### 1 教育委員会の構成

教育委員会は、人格が温厚誠実で、学校、生涯学習及び文化等の教育に関し識見を有するもののうち、町長が町議会の同意を得て任命した教育長及び4人の教育委員により構成されています。

砥部町教育委員会委員(令和4年3月31日現在)

職名	氏名	任期	期数
教育長	大江 章吾	令和2年2月17日就任 令和5年2月16日満了	1期
委員 (教育長職務代理者)	廣瀬 美和子	平成31年2月17日就任 令和5年2月16日満了	3期
委員	丸本 正和	令和3年2月17日就任 令和7年2月16日満了	2期
委員	篠原 弘康	令和4年2月17日就任 令和8年2月16日満了	2期
委員	大西 三千枝	令和2年2月17日就任 令和6年2月16日満了	1期

#### 2 教育委員会会議の運営状況

教育委員会会議（定例会、臨時会）の令和3年度における運営状況は次のとおりです。

- (1) 開催回数 15回（定例会12回/臨時会3回）
- (2) 議案件数 47件
- (3) 傍聴人 0人（累計）

#### 3 学校・幼稚園訪問

##### (1) 学校訪問

各学校の教育方針や学校経営の実情をもとに、学校教育推進上の諸問題について話し合い、これからの学校教育の推進を図るため、学校施設の状況視察及び全ての教諭

の授業を参観しました。

【訪問内容】

- ① 教育方針及び学校教育推進に伴う課題・問題（施設の管理・危機管理・サービスなど）について、説明を受け協議しました。
- ② 具体的な教育活動（児童生徒指導の実情と問題点）や特色ある教育活動などについて協議しました。

(2) 幼稚園（こども園）訪問

幼稚園やこども園の運営を協議するため、施設訪問を実施しました。

訪問日	施設名	訪問日	施設名
6月2日	砥部小学校	6月3日	宮内小学校
6月9日	砥部中学校	6月16日	麻生小学校
6月17日	広田小学校	11月18日	幼稚園（こども園）

#### 4 その他の活動状況

令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していた小・中学校及び町関係行事が中止又は規模を縮小した形での開催となりました。

開催日	行事名等
4月2日	・新任教職員挨拶会【中央公民館】
4月7日	・山村留学センター入所式
4月9日	・小・中学校入学式
4月12日	・幼稚園・こども園入園式
7月15日	・砥部町小学校水泳記録会【宮内小学校】
9月19日	・砥部中学校運動会
10月2日	・砥部こども園運動会
10月3日	・砥部小学校運動会、麻生・宮内幼稚園運動会
10月5日	・砥部町小学校陸上競技記録会【ニンジニアスタジアム】
10月24日	・麻生小学校・宮内小学校運動会
11月7日	・広田小学校運動会
11月21日	・みなくる芸能発表会【町文化会館】
12月4日	・砥部町「人権の町づくり集会」【町文化会館】
12月11日	・第72回全国人権・同和教育研究大会愛媛県内報告会【町文化会館】
12月23日	・砥部町総合教育会議【役場庁舎】

1月4日	・砥部町年賀交歓会【中央公民館】
1月8日、9日	・砥部町成人式【町文化会館】
3月5日	・坂村真民記念館開館10周年記念特別展開展式【坂村真民記念館】
3月12日	・坂村真民記念館開館10周年記念イベント【町文化会館】
3月17日	・砥部中学校卒業式
3月18日	・幼稚園・こども園卒園式
3月24日	・砥部地域小学校卒業式
3月25日	・広田小学校卒業式 ・山村留学センター退所式
3月29日	・教職員離任式【中央公民館】

## IV 教育委員会における事務の管理・執行状況

### 目 次

注1) 評価欄には、各施策別評価の「自己評価」を掲載しています。

施策	No.	評価対象事業名	担当係	評価	方向性	頁
【目標】未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します。						
【主要施策】子どもを産み育てやすい環境整備						
	1	就学援助事業	学校教育係	B	維持	11
	2	教育活動支援事業	学校教育係	B	維持	12
	3	奨学資金貸与事業	総務係	B	維持	13
	4	幼児教育推進事業	保育幼稚園係	B	維持	14
【主要施策】子どもの健やかな成長支援の充実						
	5	保健対策事業	学校教育係	B	維持	15
	6	特別支援教育推進事業	学校教育係	B	維持	16
	7	運動・体力向上推進事業	学校教育係	B	維持	17
	8	地域の特性を生かす教育推進事業	学校教育係	B	維持	18
【主要施策】生きる力を育む教育の推進						
	9	キャリア教育推進事業	学校教育係	B	維持	19
	10	学校給食運営事業	給食センター係	B	維持	20
【主要施策】教育力の向上						
	11	校務支援・業務改善事業	総務係	B	維持	21
	12	教職員研修事業	総務係	B	維持	22
	13	学力向上推進事業	学校教育係	B	維持	23
	14	情報教育推進事業	学校教育係	B	維持	24
	15	外国語教育推進事業	総務係・学校教育係	B	維持	25
	16	いじめ・不登校等対策事業	学校教育係	B	維持	26
	17	山村留学センター運営事業	総務係	B	維持	27
	18	学校間連携推進事業	総務係	B	維持	28
【主要施策】安全・安心の充実した教育環境の整備						
	19	学校施設整備・維持管理	総務係	B	維持	29
	20	小学校校舎等大規模改修工事	総務係	B	廃止	30
	21	学校安全対策事業	総務係	B	維持	31
	22	感染症対策事業	総務係	B	維持	32

施策	No.	評価対象事業名	担当係	評価	方向性	頁
【目標】身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。						
【主要施策】ニーズに合わせた学習機会の充実						
	23	国際交流事業	社会教育係	B	維持	33
	24	公民館活動事業	公民館係	B	維持	34
【主要施策】活動の場づくりと担い手の充実						
	25	文化会館・図書館管理運営	文化スポーツ係	B	維持	35
	26	公民館施設管理	公民館係	B	維持	36
	27	青少年健全育成事業	社会教育係	B	維持	37
【主要施策】互いの人権を尊重する社会の構築						
	28	人権教育・人権対策推進事業	社会教育係	B	拡大	38
【主要施策】男女共同参画の推進						
	29	女性団体育成支援事業	社会教育係	B	拡大	39
【主要施策】文化財保護と継承						
	30	文化財保護事業	文化スポーツ係	B	維持	40
【主要施策】文化財の活用						
	31	文化財の活用	文化スポーツ係	B	維持	41
	32	坂村真民記念館	文化スポーツ係	B	維持	42
【主要施策】地域伝統文化の継承						
	33	地域伝統文化保存伝承事業	文化スポーツ係	B	維持	43
【目標】文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。						
【主要施策】文化・芸術活動への参加促進						
	34	文化・芸術活動の人材発掘及び育成事業	文化スポーツ係	B	維持	44
【主要施策】文化・芸術活動を通じた交流の推進						
	35	学習発表会	公民館係	B	維持	45
【主要施策】ライフステージに応じたスポーツ活動の推進						
	36	社会体育推進事業	文化スポーツ係	B	維持	46
	37	社会体育施設管理	文化スポーツ係	B	維持	47
【主要施策】地域における指導者の確保及び育成						
	38	スポーツ指導者確保及び育成	文化スポーツ係	B	維持	48
【主要施策】スポーツを通じた交流の拡大						
	39	レクリエーションスポーツ推進事業	文化スポーツ係	B	維持	49

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

	所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。			
主要施策	子どもを産み育てやすい環境整備			

事業No.	1	事業名	就学援助事業	決算額	19,196,735円
-------	---	-----	--------	-----	-------------

事業目的	経済的な事由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費を助成し、負担軽減を図る。
------	---

取組内容及び成果	1 要保護・準要保護児童生徒援助事業					
	(1) 支給総額 17,971,337円 (小学校：8,761,580円 中学校：9,209,757円)					
	(2) 対象者数					
		学校区分	年度	全児童等数	要保護	準要保護
		小学校	3年度	1,048人	4人	109人
			2年度	1,053人	4人	101人
			元年度	1,096人	6人	112人
		中学校	3年度	597人	4人	69人
			2年度	604人	4人	67人
			元年度	572人	4人	67人
	(3) 補助対象品目 学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、通学費、体育実技用具費、学校給食費、医療費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、卒業アルバム代					
2 特別支援教育就学奨励事業						
(1) 支給総額 1,225,398円 (小学校：687,401円 中学校：537,997円)						
(2) 対象者数 (特別支援学級在籍児童生徒) 小学校：19人(21人) 中学校：9人 (13人)						

自己評価	B	評価理由	入学説明会及び事業説明文書の配布により全保護者に事業を周知したことにより、就学援助を必要とする家庭に援助することができた。年度途中の転入時において、制度の説明不足により、支給が遅れる事案が発生したが、概ね目標とする成果であった。
------	---	------	--

方向性	維持
-----	----

課題	漏れのない正確な支給事務
----	--------------

課題に対する取組	重要事項が欠落しないよう、チェックリストを作成して活用する。
----------	--------------------------------

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係																																						
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																																										
主要施策	子どもを産み育てやすい環境整備																																										
事業No.	2	事業名	教育活動支援事業		決算額	2,829,201円																																					
事業目的	小中学校が校外で実施する各種教育活動に要する経費に対し、補助金を交付し、もって砥部町の教育振興、心豊かで潤いのある充実した生活の創造を図る。																																										
取組内容及び成果	<p>1 少年自然の家利用助成事業                      児童生徒の豊かな人間性の育成に寄与するため、参加しやすい環境を整えた。</p> <p>(1) 実施場所 小学校 大三島少年自然の家                      中学校 大洲青少年交流の家</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区分</th> <th>年度</th> <th>一般</th> <th>要・準要保護</th> <th>特支奨励対象</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小学校</td> <td>3年度</td> <td>156人</td> <td>16人</td> <td>1人</td> <td>781,451円</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>154人</td> <td>20人</td> <td>2人</td> <td>785,955円</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>162人</td> <td>19人</td> <td>4人</td> <td>844,177円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中学校</td> <td>3年度</td> <td>136人</td> <td>21人</td> <td>2人</td> <td>316,840円</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>180人</td> <td>19人</td> <td>3人</td> <td>430,041円</td> </tr> </tbody> </table>					学校区分	年度	一般	要・準要保護	特支奨励対象	補助金額	小学校	3年度	156人	16人	1人	781,451円	2年度	154人	20人	2人	785,955円	元年度	162人	19人	4人	844,177円	中学校	3年度	136人	21人	2人	316,840円	2年度	—	—	—	—	元年度	180人	19人	3人	430,041円
	学校区分	年度	一般	要・準要保護	特支奨励対象	補助金額																																					
小学校	3年度	156人	16人	1人	781,451円																																						
	2年度	154人	20人	2人	785,955円																																						
	元年度	162人	19人	4人	844,177円																																						
中学校	3年度	136人	21人	2人	316,840円																																						
	2年度	—	—	—	—																																						
	元年度	180人	19人	3人	430,041円																																						
<p>2 選手派遣費交付事業                      県内各地で実施される総合体育大会、新人体育大会等への旅費に対する補助金交付により参加しやすい環境を整えた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>大会名</th> <th>補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校総合体育大会</td> <td>891,750円</td> <td>地区大会356人、県大会134人、四国大会2人</td> </tr> <tr> <td>全日本吹奏楽コンクール</td> <td>74,700円</td> <td>県大会 44人</td> </tr> <tr> <td>中学校新人体育大会</td> <td>712,060円</td> <td>地区大会 222人、県大会 64人</td> </tr> <tr> <td>全日本アンサンブルコンテスト</td> <td>52,400円</td> <td>県大会 31人</td> </tr> </tbody> </table>					大会名	補助金額	備考	中学校総合体育大会	891,750円	地区大会356人、県大会134人、四国大会2人	全日本吹奏楽コンクール	74,700円	県大会 44人	中学校新人体育大会	712,060円	地区大会 222人、県大会 64人	全日本アンサンブルコンテスト	52,400円	県大会 31人																								
大会名	補助金額	備考																																									
中学校総合体育大会	891,750円	地区大会356人、県大会134人、四国大会2人																																									
全日本吹奏楽コンクール	74,700円	県大会 44人																																									
中学校新人体育大会	712,060円	地区大会 222人、県大会 64人																																									
全日本アンサンブルコンテスト	52,400円	県大会 31人																																									
自己評価	B	評価理由	小中学校の集団学習活動は332人の児童生徒が参加し、中学校の総合体育大会、新人大会等は853人の生徒が参加した。当該活動の参加に必要な経費を支援することにより、児童生徒が参加しやすい環境を維持するなど、概ね目標とする成果であった。																																								
方向性	維持																																										
課題	なし																																										
課題に対する取組	なし																																										

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係																
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																				
主要施策	子どもを産み育てやすい環境整備																				
事業No.	3	事業名	奨学資金貸与事業		決算額	782円															
事業目的	経済的理由により有用な人材で、就学が困難な者の就学の機会を確保する。																				
取組内容及び成果	<p>次に掲げる要件を備え、砥部町奨学資金奨学生選考委員会で採用された者に対し、奨学金を貸与した。</p> <p>(1) 学校教育法に規定する高等学校又は高等専門学校第3学年までに在学する者</p> <p>(2) 学業・人物ともに優れ、かつ、健康な者</p> <p>(3) 学資の支弁が困難であると認められる者</p> <p>(4) 保護者が砥部町に居住する者</p> <p>(5) 未成年者</p> <p>1 貸与実績（3年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>貸与人数</th> <th>貸与月額</th> <th>貸与年額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>7人</td> <td>20,000円</td> <td>1,680,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>4人</td> <td>25,000円</td> <td>1,200,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 償還管理（償還実績（3年度））</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>償還者数</th> <th>償還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20人</td> <td>1,515,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 基金管理（基金運用状況）</p> <p>(1) 期首 30,817,348円（通帳残高 18,274,848円 未償還額 12,542,500円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸与金 2,880,000円</li> <li>・ 償還金 1,515,000円</li> <li>・ 利息 782円</li> </ul> <p>(2) 期末 30,818,130円（通帳残高 16,910,630円 未償還額 13,907,500円）</p>					区分	貸与人数	貸与月額	貸与年額	公立	7人	20,000円	1,680,000円	私立	4人	25,000円	1,200,000円	償還者数	償還額	20人	1,515,000円
	区分	貸与人数	貸与月額	貸与年額																	
公立	7人	20,000円	1,680,000円																		
私立	4人	25,000円	1,200,000円																		
償還者数	償還額																				
20人	1,515,000円																				
自己評価	B	評価理由	貸与事業において11人の貸与を決定した。償還管理について予定どおり実施することができ、概ね目標とする成果であった。																		
方向性	維持																				
課題	基金の有効活用																				
課題に対する取組	町内就職者に対し、償還金を減額又は免除することにより、町に貢献する人材を確保するなど、地方創生の観点を取り入れた制度設計を検討する。																				

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	子育て支援課	担当係	保育幼稚園係															
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																			
主要施策	子どもを産み育てやすい環境整備																			
事業No.	4	事業名	幼児教育推進事業		決算額	69,686,637円														
事業目的	町立幼稚園において、義務教育及びその後の教育の基礎を培い、幼児を保育し、幼児の健全な成長のために適当な環境を与えてその心身の発達の助長を図る。																			
取組内容及び成果	<p>1 幼稚園の運営</p> <p>これまでコロナ禍で行事等を縮小してきたが、コロナ対策を図りながら行事等を実施し、園での活動の充実に向け取り組んだ。外国語や異文化に親しむ取り組みや、人権、食育等の学習機会を設け、就学に向けた教育を実践した。</p> <p>(1) 預かり保育</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日数</th> <th>登録人数</th> <th>延べ利用人数</th> <th>1日当たりの利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>麻生幼稚園</td> <td>228日</td> <td>17人</td> <td>1,247人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>宮内幼稚園</td> <td>99日</td> <td>4人</td> <td>140人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 行事・園外保育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>七夕、夏祭り、節分、ひな祭りなど季節に合わせた伝統的な行事</li> <li>運動会、発表会、マラソン大会など表現活動や体力促進を目指した活動</li> <li>保育所や小学校との交流、またお茶会、書き方教室など地域の方との交流</li> <li>保育参観、給食参観、親子遠足など保護者との連携</li> <li>とべ動物園での七夕、坊っちゃん劇場や県立医療技術大学との交流事業など地域資源を活かした活動</li> </ul> <p>(3) 就学前教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国語や異文化に親しむ取組（ALT交流年4回実施、とベキッズ年6回実施）</li> <li>食育の取組（カミカミ教室、給食センター見学、野菜の栽培等）</li> <li>人権教育への取組（ハートピアみなみとの交流等）</li> </ul> <p>2 幼児教育研修会</p> <p>教職員は研修を積極的に受講し、スキルアップに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園新規採用教員研修2名、幼稚園キャリアアップ研修1名受講</li> <li>特別支援教育、防災管理研修、愛媛県幼稚園教育研修会等</li> </ul>						実施日数	登録人数	延べ利用人数	1日当たりの利用人数	麻生幼稚園	228日	17人	1,247人	6人	宮内幼稚園	99日	4人	140人	2人
		実施日数	登録人数	延べ利用人数	1日当たりの利用人数															
麻生幼稚園	228日	17人	1,247人	6人																
宮内幼稚園	99日	4人	140人	2人																
自己評価	B	評価理由	<p>コロナ禍で創意工夫を図った教育課程の実践を課題としていたが、コロナ対策を図り、通常保育以外にも、園での行事・園外保育の充実を図ることができた。また、教職員の研修機会もオンライン研修等により機会が充実され積極的に参加することができたため、概ね目標とする成果であった。</p>																	
方向性	維持																			
課題	コロナ禍における保育環境の維持向上																			
課題に対する取組	<p>コロナ禍での優良な活動事例を保育に取り入れる。</p> <p>感染症対策とのバランスのとれた活動を行う。</p>																			

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係																											
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																															
主要施策	子どもの健やかな成長支援の充実																															
事業No.	5	事業名	保健対策事業		決算額	7,587,785円																										
事業目的	児童生徒及び教職員が、心身ともに健康で学校生活を送ることができるよう、病気等の早期発見・予防につなげる。																															
取組内容及び成果	<p>1 児童生徒健康診断                      学校保健安全法に基づき、定期健康診断、学校医による各種（内科・歯科・眼科・耳鼻咽喉科）検診を実施した。また、学校保健委員会を組織し、児童生徒の健康保持、増進を図った。</p> <p>(1) 費用                      ・ 学校医・学校薬剤師報酬 836,000円 出向料・技術料（検診） 2,218,300円                      ・ 児童生徒健康診断委託料 2,409,110円 健康手帳印刷費 310,200円                      ・ 伊予地区結核対策委員会 30,600円</p> <p>(2) 検査項目 尿、心電図、モアレ検査、小児生活習慣病予防健診、胸部X線検査、食事生活調査</p> <p>2 教職員健康診断                      (1) 費用 教職員健診委託料 1,636,035円 ストレスチェック委託料 75,540円                      (2) 検査項目 健康診断、尿、心電図、血液、眼底、胃がん、大腸がん、ストレスチェック</p> <p>3 教室の開催                      生命誕生のしくみや生命の連続性について理解し、自他に生命を大切にしようという気持ちを深めるため、思春期教室を開催した。</p> <p>(1) 講師 県立医療技術大学准教授 中越利佳                      (2) 開催内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>演 題</th> <th>参 加 者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>麻生小学校</td> <td>10月22日</td> <td>「生きてるだけで100点満点!! ~すてきないのち・輝くいのち~」</td> <td>5年生80人、教職員</td> </tr> <tr> <td>宮内小学校</td> <td>10月29日</td> <td>「命の誕生」</td> <td>5年生50人、教職員</td> </tr> <tr> <td>砥部小学校</td> <td>10月15日</td> <td>「生命の誕生」</td> <td>5年生36人、教職員</td> </tr> <tr> <td>広田小学校</td> <td>10月18日</td> <td>「生命誕生」</td> <td>5・6年生9人、教職員</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">砥部中学校</td> <td>6月25日</td> <td>「中学3年生のあなたに伝えたいこと 性を大切に」 -大切な自分と相手を守るために-</td> <td>3年生208人、教職員</td> </tr> <tr> <td>11月24日</td> <td>「生命誕生・男女交際」</td> <td>1年生171人、教職員</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 費用 思春期教室講師謝礼72,000円(麻生・宮内・砥部・広田小学校、砥部中学校)</p>						実施日	演 題	参 加 者	麻生小学校	10月22日	「生きてるだけで100点満点!! ~すてきないのち・輝くいのち~」	5年生80人、教職員	宮内小学校	10月29日	「命の誕生」	5年生50人、教職員	砥部小学校	10月15日	「生命の誕生」	5年生36人、教職員	広田小学校	10月18日	「生命誕生」	5・6年生9人、教職員	砥部中学校	6月25日	「中学3年生のあなたに伝えたいこと 性を大切に」 -大切な自分と相手を守るために-	3年生208人、教職員	11月24日	「生命誕生・男女交際」	1年生171人、教職員
		実施日	演 題	参 加 者																												
麻生小学校	10月22日	「生きてるだけで100点満点!! ~すてきないのち・輝くいのち~」	5年生80人、教職員																													
宮内小学校	10月29日	「命の誕生」	5年生50人、教職員																													
砥部小学校	10月15日	「生命の誕生」	5年生36人、教職員																													
広田小学校	10月18日	「生命誕生」	5・6年生9人、教職員																													
砥部中学校	6月25日	「中学3年生のあなたに伝えたいこと 性を大切に」 -大切な自分と相手を守るために-	3年生208人、教職員																													
	11月24日	「生命誕生・男女交際」	1年生171人、教職員																													
自己評価	B	評価理由	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ日程の変更を行う等、感染症対策を行いながら問題なく事業を実施し、概ね目標とする成果であった。																													
方向性	維持																															
課題	なし																															
課題に対する取組	なし																															

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係																																				
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																																								
主要施策	子どもの健やかな成長支援の充実																																								
事業No.	6	事業名	特別支援教育推進事業		決算額	30,443,961円																																			
事業目的	支援を要する全ての幼児及び児童生徒が豊かに学校生活を送れるように具体的な支援を行なう。																																								
取組内容及び成果	<p>1 教育支援委員会 特別支援学級への入級、学校生活支援員配置、通級指導の可否等の就学に必要な事項を審議した。(書面会議等含む)</p> <p>(1) 教育支援委員会会議開催回数 3回(審議対象者数 51人 委員報酬 35,000円)</p> <p>(2) 教育相談開催回数 2回(相談者数 44人 相談員謝礼等 77,256円)</p> <p>(3) 発達検査回数 7回(検査対象者数 12人 発達検査員謝礼 70,000円)</p> <p>2 巡回相談 特別支援教育士等による巡回相談を実施し、学校等における日常の授業等を観察して、発達の遅れやその心配のある対象者への効果的な支援及び指導の在り方についてアドバイスした。</p> <p>(1) 巡回相談員派遣日数 30日(対象者数 148人 相談員謝礼 328,000円)</p> <p>3 特別支援連携協議会 特別支援連携協議会を開催し、関係機関の連携、研修会の実施による教職員の資質向上、保護者理解の促進を図った。</p> <p>(1) 開催回数 2回(書面)</p> <p>4 学校生活支援員配置 ※( )は対象児童生徒数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">幼稚園</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3年度</td> <td>3人</td> <td>(4人)</td> <td>20人</td> <td>(33人)</td> <td>3人</td> <td>(3人)</td> <td>26人</td> <td>(40人)</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>1人</td> <td>(2人)</td> <td>21人</td> <td>(29人)</td> <td>1人</td> <td>(1人)</td> <td>23人</td> <td>(32人)</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>1人</td> <td>(2人)</td> <td>28人</td> <td>(55人)</td> <td>1人</td> <td>(1人)</td> <td>30人</td> <td>(58人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 費用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援員賃金 29,919,927円</li> <li>旅費 13,778円</li> </ul>					年度	幼稚園		小学校		中学校		合計		3年度	3人	(4人)	20人	(33人)	3人	(3人)	26人	(40人)	2年度	1人	(2人)	21人	(29人)	1人	(1人)	23人	(32人)	元年度	1人	(2人)	28人	(55人)	1人	(1人)	30人	(58人)
	年度	幼稚園		小学校		中学校		合計																																	
3年度	3人	(4人)	20人	(33人)	3人	(3人)	26人	(40人)																																	
2年度	1人	(2人)	21人	(29人)	1人	(1人)	23人	(32人)																																	
元年度	1人	(2人)	28人	(55人)	1人	(1人)	30人	(58人)																																	
自己評価	B	評価理由	特別な支援が必要と思われる児童生徒等について現状を把握するとともに有識者等の意見を聴き、当該児童生徒の状態に応じた支援を行った。また、学校生活支援員の配置に関しては、配置が必要な児童生徒等に対して希望どおり配置し安全かつ安心して学校生活をおくるサポートができたことなど、概ね目標とする成果であった。																																						
方向性	維持																																								
課題	学校生活支援員の確保																																								
課題に対する取組	広報活動及び人脈を活用した採用を強化する。																																								

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	子どもの健やかな成長支援の充実					
事業No.	7	事業名	運動・体力向上推進事業		決算額	365,116円
事業目的	子どもの心身の健康や体力の向上を図り、楽しさや喜びを味わうことのできる体育の授業やクラブ活動、運動部活動の充実を図る。					
取組内容及び成果	<p>1 小学校水泳大会、陸上競技大会</p> <p>(1) 水泳大会（6年生）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催日 7月15日</li> <li>・ 場所 宮内小学校</li> <li>・ 標準記録突破者数 17人</li> <li>・ 費用 110,454円（記念品（メダル）、消耗品、自動車借上料）</li> </ul> <p>(2) 陸上競技大会（6年生）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催日 10月5日</li> <li>・ 場所 ニンジニアスタジアム</li> <li>・ 標準記録突破者数 27人</li> <li>・ 費用 153,022円（消耗品、会場使用料、自動車借上料）</li> </ul> <p>(3) 上位大会の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 費用 101,640円（自動車借上料）</li> <li>・ 伊予地区水泳大会（中止）</li> <li>・ 伊予地区陸上大会入賞者 14人、リレー入賞 3チーム</li> <li>・ 県陸上大会（伊予地区4位以上）出場者 10人、リレー 1チーム</li> </ul> <p>2 中学校運動部活動</p> <p>(1) 運動部数（部員数）18部（408人（男子 225人/女子 183人））</p> <p>(2) 種別 軟式野球、ソフトボール、ソフトテニス、バスケットボール、バレーボール、卓球、剣道、柔道、陸上競技、バドミントン</p> <p>(3) 砥部町立中学校における運動部活動の方針 生徒及び教職員双方の負担を考慮し、持続可能な運動部活動の方針を示した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休養日 平日週1日、土日曜1日以上</li> <li>・ 活動時間 平日2時間、休業日3時間程度</li> </ul>					
自己評価	B	評価理由	水泳大会、陸上大会の練習を通じて、体力向上を図った。また、各校において体力向上推進計画を推進するなど概ね目標とする成果であった。			
方向性	維持					
課題	全国平均を下回っている小学5年生の体力・運動能力の向上					
課題に対する取組	学校だけでなく家庭、地域の協力を得ながら、子どもの運動習慣の定着につなげる。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係												
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																
主要施策	子どもの健やかな成長支援の充実																
事業No.	8	事業名	地域の特性を生かす教育推進事業	決算額	950,000円												
事業目的	自然、歴史、文化などの地域の特性を生かした特色ある教育活動を推進し、心豊かで潤いのある充実した生活の創造を図る。																
取組内容及び成果	<p>1 特色のある教育活動への助成</p> <p>小・中学校の個性ある取組みを円滑かつ効果的に実施するため、次の活動に対し、交付金を交付した。</p> <p>(1) 地域の歴史、文化、自然を生かす活動</p> <p>(2) 地域に根ざした勤労、奉仕を体験する活動</p> <p>(3) 交流の輪を広げる活動</p> <p>(4) 学校、地域の伝統を築く活動</p> <p>(5) その他学校、地域の特性を生かす活動</p> <p>2 交付額</p> <p>(1) 砥部地域小学校 各200,000円</p> <p>(2) 広田小学校 100,000円</p> <p>(3) 砥部中学校 250,000円</p> <p>3 学校別事業内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">校名</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>麻生小</td> <td>環境学習、平和の学習、校区探検、砥部焼体験、民話の発表会、栽培活動</td> </tr> <tr> <td>宮内小</td> <td>生活科の学習、町の自然や文化を知る学習、読み聞かせ活動、花・野菜の栽培</td> </tr> <tr> <td>砥部小</td> <td>働く人に学ぶ学習、昔の遊び体験、野菜・米作り、砥部焼作り</td> </tr> <tr> <td>広田小</td> <td>野菜・米作り、砥部焼作り、俳句活動、伝統芸能（太鼓・万歳）</td> </tr> <tr> <td>砥部中</td> <td>総合的な学習（町の実態学習、人権学習、地域巡り、働く人に学ぶ講演会）</td> </tr> </tbody> </table>					校名	内容	麻生小	環境学習、平和の学習、校区探検、砥部焼体験、民話の発表会、栽培活動	宮内小	生活科の学習、町の自然や文化を知る学習、読み聞かせ活動、花・野菜の栽培	砥部小	働く人に学ぶ学習、昔の遊び体験、野菜・米作り、砥部焼作り	広田小	野菜・米作り、砥部焼作り、俳句活動、伝統芸能（太鼓・万歳）	砥部中	総合的な学習（町の実態学習、人権学習、地域巡り、働く人に学ぶ講演会）
	校名	内容															
麻生小	環境学習、平和の学習、校区探検、砥部焼体験、民話の発表会、栽培活動																
宮内小	生活科の学習、町の自然や文化を知る学習、読み聞かせ活動、花・野菜の栽培																
砥部小	働く人に学ぶ学習、昔の遊び体験、野菜・米作り、砥部焼作り																
広田小	野菜・米作り、砥部焼作り、俳句活動、伝統芸能（太鼓・万歳）																
砥部中	総合的な学習（町の実態学習、人権学習、地域巡り、働く人に学ぶ講演会）																
自己評価	B	評価理由	砥部町の地場産業である砥部焼の体験学習をはじめ、地域固有の資源を学習に取り入れて、個性的な学習活動が行われており、概ね目標とする成果であった。														
方向性	維持																
課題	SDG s を意識した学習活動の推進																
課題に対する取組	適切に効果測定を行う。																

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	生きる力を育む教育の推進					
事業No.	9	事業名	キャリア教育推進事業		決算額	—
事業目的	中学2年生を対象に、地域での職場体験学習を通じ、郷土への理解を深めるとともに、生徒のコミュニケーション能力や勤労観を育み、社会性を涵養する。					
取組内容及び成果	<p>1 えひめジョブチャレンジU-15事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、職場体験学習に代えて製造業や接客業など、地域の18カ所の事業所の方に働くことについての講演を実施した。</p> <p>(1) 実施日 11月11日・17日・25日、12月9日の4日間</p> <p>(2) 参加人数 中学校2年生 218人</p> <p>(3) 協力事業所 18社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービス業 9社</li> <li>・ 建設・不動産業 1社</li> <li>・ 製造業 1社</li> <li>・ 流通小売 2社</li> <li>・ 官公庁 5機関</li> </ul>					
自己評価	B	評価理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため職場体験学習が制限される中、講演やオンラインを取り入れた交流など可能な方法で実施した。社会参画意識の醸成において課題が残るが、特別な事態の中で18社の参加を得て事業に取り組むことができたことなど、概ね目標とする成果であった。			
方向性	維持					
課題	新型コロナウイルス感染症が拡大する中でのバランスのとれた体験学習の実施					
課題に対する取組	コロナ禍においても職場体験が実施できる体制づくりと、生徒を受け入れてくれる多様な事業所を数多く確保する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

	所管課名	学校教育課	担当係	給食センター係
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。			
主要施策	生きる力を育む教育の推進			

事業No.	10	事業名	学校給食運営事業	決算額	177,453,760円
-------	----	-----	----------	-----	--------------

事業目的	調理業務を衛生的かつ円滑、効果的に実施し、栄養バランスのとれた安全で安心な給食を提供する。				
------	---	--	--	--	--

取組内容及び成果	1 学校給食センター運営委員会	学期ごとに学校給食センター運営委員会を開催し、学校給食の取り組み状況を報告するとともに、物資の価格や地産地消の推進について協議を行った。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、3学期は書面開催						
	2 給食調理	(1) 実施回数 195回/年 食数 1,964人/日 (2) 給食費（学校給食材料負担金） 91,772,126円 ※給食センター管理費に充当						
		幼稚園	小学校	中学校	※平成29年4月改定			
	1食あたり	235円	250円	290円				
	3 運営経費	(単位：円)						
	年度	人件費	消耗品費	燃料/光熱水費	賄材料費	修繕/工事費	その他	計
	3年度	50,077,580	4,784,844	17,692,650	92,918,550	2,534,730	9,445,406	177,453,760
	2年度	52,663,932	4,188,726	16,183,930	86,153,741	2,071,297	11,566,612	172,828,238
	元年度	45,858,116	3,618,535	19,092,820	87,075,091	1,388,717	11,076,194	168,109,473
4 地産地消の推進（町内産物資の状況）	(1) 購入額合計 3,847,678円 (2) 物資種類 干ししいたけ、ほうれん草、玉ねぎ、キャベツ、米、七折梅など							

自己評価	B	評価理由	幼稚園から中学校までの成長期の子供たちに対し、発育段階に応じた栄養豊かな給食を事故なく提供することができた。また、県学校給食会を通じ、可能な限り町内産の米を確保し、地産地消を推進するなど、概ね目標とする成果であった。
------	---	------	--

方向性	維持
-----	----

課題	調理員の確保
----	--------

課題に対する取組	広報活動及び人脈を活用した採用を強化するとともに、将来を見通し、安定した給食センターの管理運営体制を検討する。
----------	---

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係																				
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																								
主要施策	教育力の向上																								
事業No.	11	事業名	校務支援・業務改善事業		決算額	21,468,345円																			
事業目的	教職員一人ひとりに校務用PCを配備し、効率の良い校務環境を提供するとともに、社会問題化している教職員の長時間勤務の改善を図る。																								
取組内容及び成果	<p>1 校務用PCの配備 教育委員会1台 小学校89台 中学校60台</p> <p>(1) リース期間 令和2年8月～令和7年7月(5年間リース)</p> <p>(2) 支払総額 91,608,000円(うち3年度分18,321,600円)</p> <p>2 愛媛スクールネット(ES-net)の活用</p> <p>県下の小中学校等を結ぶ愛媛の教育専用ネットワークに参画し、インターネットによる情報の収集・発信の手段として校務事務に活用した。</p> <p>(1) 回線利用料 435,600円</p> <p>3 学校閉庁日の設定</p> <p>学校業務閑散期となる8月中旬に学校閉庁日を設け、教職員の休暇取得を促すことにより、心身の健康増進や地域活動等へ参画しやすい体制整備を図った。</p> <p>(1) 実施期間 8月10日(火)～13日(金)</p> <p>4 スクール・サポート・スタッフの配置</p> <p>教材の作成など、教員の事務を補助するスクール・サポート・スタッフを砥部地区の小学校3校に配置し、相談体制を充実させたことにより、教員の負担軽減に繋げることができた。</p> <p>(1) 人数 3人</p> <p>(2) 配置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>延べ配置日数</th> <th>延べ配置時間</th> <th>人件費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>麻生小学校</td> <td>211日</td> <td>844時間</td> <td>911,952円</td> </tr> <tr> <td>宮内小学校</td> <td>202日</td> <td>808時間</td> <td>872,371円</td> </tr> <tr> <td>砥部小学校</td> <td>210日</td> <td>840時間</td> <td>926,822円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>623日</td> <td>2,492時間</td> <td>2,711,145円</td> </tr> </tbody> </table>						延べ配置日数	延べ配置時間	人件費	麻生小学校	211日	844時間	911,952円	宮内小学校	202日	808時間	872,371円	砥部小学校	210日	840時間	926,822円	計	623日	2,492時間	2,711,145円
	延べ配置日数	延べ配置時間	人件費																						
麻生小学校	211日	844時間	911,952円																						
宮内小学校	202日	808時間	872,371円																						
砥部小学校	210日	840時間	926,822円																						
計	623日	2,492時間	2,711,145円																						
自己評価	B	評価理由	校務支援ソフトウェアやスクール・サポート・スタッフの配置等により教職員の業務負担軽減に努める等、概ね目標とする成果であった。																						
方向性	維持																								
課題	校務支援システムの効果的な運用																								
課題に対する取組	教職員へのシステム運用研修を実施し、学校現場と共同して効果的な活用方法について研究する。																								

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係															
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																			
主要施策	教育力の向上																			
事業No.	12	事業名	教職員研修事業		決算額	—														
事業目的	町又は学校独自に研究授業や研修を実施し、教職員の指導力向上、綱紀保持及び服務規律の徹底を図る。																			
取組内容及び成果	1 校内研修会の実施 <table border="1" data-bbox="276 696 1082 842"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>麻生小</th> <th>宮内小</th> <th>砥部小</th> <th>広田小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>7回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>延べ参加者数</td> <td>126人</td> <td>62人</td> <td>54人</td> <td>28人</td> </tr> </tbody> </table>					種別	麻生小	宮内小	砥部小	広田小	開催回数	7回	3回	3回	4回	延べ参加者数	126人	62人	54人	28人
	種別	麻生小	宮内小	砥部小	広田小															
開催回数	7回	3回	3回	4回																
延べ参加者数	126人	62人	54人	28人																
(1) 普通救命講習(講師：砥部消防署 AED使用方法等) (2) タブレット研修(講師：県総合教育センター指導主事 タブレット端末等を活用した授業改善) (3) 中予教育事務所小中学校フォローアップ研修(講師：中予教育事務所指導主事) (4) 校内授業研究会(講師：中予教育事務所指導主事)																				
2 外部講師を招へいせず実施した研修等 ICT機器研修 道徳科の評価 特別支援教育(配慮を要する児童) 学力向上 プログラミング研修 人権・同和教育研修																				
自己評価	B	評価理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定どおりの研修は実施できなかったが、各学校が工夫をこらして研修を行う等、概ね目標とする成果であった。																	
方向性	維持																			
課題	教職員の負担軽減とのバランスのとれた研修計画																			
課題に対する取組	教職員の負担軽減を考慮し、対面とオンライン研修とを効果的に組み合わせた研修を行う。																			

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	教育力の向上					
事業No.	13	事業名	学力向上推進事業		決算額	784,962円
事業目的	教育・学習指導の課題を明らかにし、今後の教育内容の改善及び学力の向上を図る。					
取組内容及び成果	<p>1 砥部町学力向上推進委員会 町内児童生徒の学力向上を目的に、全国学力・学習状況調査等の調査結果及び各校が実施する学校評価の分析を行い、具体的な施策等の立案を行った。</p> <p>(1) 開催回数 4回（委員会1回、実践活動部会3回）</p> <p>2 学力診断テストの実施 町内児童生徒の学習定着を判断するため、町単独予算での学力診断テストを実施した。</p> <p>(1) 対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校 3～4年生（国語、算数、社会、理科）</li> <li>・ 中学校 1年生（国語、数学、社会、理科）</li> <li>2～3年生（国語、数学、社会、理科、英語）</li> </ul> <p>(2) 経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校 518,837円</li> <li>・ 中学校 266,125円</li> </ul>					
自己評価	B	評価理由	学力診断テストの結果を分析し効果的な指導を行うとともに、プリントを配布して家庭での学習の強化に努める等、概ね目標とする成果であった。			
方向性	維持					
課題	家庭での学習習慣の定着					
課題に対する取組	タブレット端末を効果的に活用する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	教育力の向上					
事業No.	14	事業名	情報教育推進事業		決算額	1,210,000円
事業目的	コンピューターに慣れ親しみ、情報や情報手段を主体的に選択し活用していくために必要な情報活用能力を育成し、児童生徒の確かな学力の定着向上を図る。					
取組内容及び成果	<p>1 GIGAスクール構想への対応</p> <p>タブレット端末を活用した授業の支援や教職員への研修、また教材作成等の支援ができる支援員を配置するなど、本町のICT教育を推進した。</p> <p>(1) ICT支援員の配置（1人） 1,210,000円</p> <p>《参考》</p> <p>タブレット端末総台数 1,817台</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校 1,158台</li> <li>・ 中学校 659台</li> </ul> <p>(2) ACアダプター等購入 3,723,500円（4,231,000円を2年度から繰越）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ タブレット用ACアダプター1,817本 3,157,100円</li> <li>・ タブレット用モニター接続ケーブル111本 566,400円</li> </ul>					
自己評価	B	評価理由	ICT支援員の配置、タブレット端末を活用した家庭学習を強化するための機器を配備する等、概ね目標とする成果であった。			
方向性	維持					
課題	教職員間のタブレット端末活用技術の格差是正					
課題に対する取組	えひめICT学習支援システムの活用を推進する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係・学校教育係																																
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																																				
主要施策	教育力の向上																																				
事業No.	15	事業名	外国語教育推進事業		決算額	12,220,157円																															
事業目的	外国語教育を充実させて、コミュニケーション能力を育成する。																																				
取組内容及び成果	<p>1 外国語指導助手の配置</p> <p>外国語指導助手を3人配置し、外国語活動や英語教育、国際理解教育を充実させた。</p> <p>(1) 報酬(3人分) 11,984,157円</p> <p>(2) 派遣時間【小学校】9:00~16:00【中学校】9:00~16:00 【保育所・幼稚園】8:30~14:00 ※認定こども園含む。</p> <p>(3) 派遣日数延べ日数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>保・幼</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3年度</td> <td>35日</td> <td>465日</td> <td>81日</td> <td>581日</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>24日</td> <td>366日</td> <td>118日</td> <td>508日</td> </tr> </tbody> </table>					年度	保・幼	小学校	中学校	合計	3年度	35日	465日	81日	581日	2年度	24日	366日	118日	508日																	
	年度	保・幼	小学校	中学校	合計																																
3年度	35日	465日	81日	581日																																	
2年度	24日	366日	118日	508日																																	
<p>2 中学生英語検定料の助成</p> <p>中学生を対象に英語検定料の一部(検定料の2分の1以内、上限2,000円、1年度に1度限り)を助成し、英語検定試験にチャレンジすることで、英語能力の向上を図った。</p> <p>(1) 対象者 英検3級以上を受験した町内に住所を有する中学生の保護者 109人</p> <p>(2) 交付実績 218,000円</p> <p>(3) 受験結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>準1級</th> <th>2級</th> <th>準2級</th> <th>3級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3年度</td> <td>受験者</td> <td>2人</td> <td>6人</td> <td>26人</td> <td>75人</td> <td>109人</td> </tr> <tr> <td>合格者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>13人</td> <td>54人</td> <td>67人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2年度</td> <td>受験者</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>11人</td> <td>84人</td> <td>98人</td> </tr> <tr> <td>合格者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>8人</td> <td>80人</td> <td>88人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	区分	準1級	2級	準2級	3級	合計	3年度	受験者	2人	6人	26人	75人	109人	合格者	0人	0人	13人	54人	67人	2年度	受験者	0人	3人	11人	84人	98人	合格者	0人	0人	8人	80人	88人
年度	区分	準1級	2級	準2級	3級	合計																															
3年度	受験者	2人	6人	26人	75人	109人																															
	合格者	0人	0人	13人	54人	67人																															
2年度	受験者	0人	3人	11人	84人	98人																															
	合格者	0人	0人	8人	80人	88人																															
自己評価	B	評価理由	外国語指導助手による生きた英語の授業を展開するとともに、英語検定試験の受験料を助成する等、概ね目標とする成果であった。																																		
方向性	維持																																				
課題	同一年度内において、更に上位の級をチャレンジする生徒への支援																																				
課題に対する取組	既に合格した級の上位の級をチャレンジする生徒については、追加支給できる支援体制を整備する。																																				

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

所管課名		学校教育課		担当係		学校教育係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。						
主要施策	教育力の向上						
事業No.	16	事業名	いじめ・不登校等対策事業			決算額	2,246,143円
事業目的	いじめ、不登校等の諸問題に対応するため、相談員等の体制整備を図り、保護者や児童生徒への相談、教職員への指導助言を行い、児童生徒の健全育成を図る。						
取組内容及び成果	1 ハートなんでも相談員の配置 2人 ※小学校のみ						
	(1) 派遣日数 141日		3年度	2年度	増減		
	(2) 勤務時間 564時間 ※4校巡回	相談件数	483件	756件	▲ 273件		
	(3) 費用 564,000円						
2 スクールカウンセラーの配置 1人 (県より派遣) ※中学校のみ							
(1) 配置日数 39日		3年度	2年度	増減			
(2) 勤務時間 148時間	相談件数	337件	323件	14件			
3 スクールソーシャルワーカーの配置 2人							
(1) 配置日数 190日			3年度	2年度	増減		
(2) 勤務時間 720時間	相談件数	小学校	37件	36件	1件		
(3) 費用 1,440,000円		中学校	107件	91件	16件		
4 Q-Uアンケート調査の実施							
標準化された心理検査「Q-Uアンケート」を実施し、生徒の状況を把握するとともに、学級経営の健全化に努めた。							
(1) 費用 242,143円							
自己評価	B	評価理由	いじめや不登校児童生徒を認知し、教職員への指導や助言を行い、いじめの解消や不登校児童生徒の早期発見・対応に努める等、概ね目標とする成果であった。				
方向性	維持						
課題	不登校児童制への多様な対応						
課題に対する取組	タブレット端末を活用して、きめ細かな対応を行う。						

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係																																												
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																																																
主要施策	教育力の向上																																																
事業No.	17	事業名	山村留学センター運営事業		決算額	15,424,902円																																											
事業目的	人口減少や固定化する人間関係など、小規模校が抱える課題の解消を図るとともに、豊かな自然環境の中での共同生活、体験活動を通じて「心豊かでたくましい子ども」の育成を図る。																																																
取組内容及び成果	<p>1 留学児童</p> <p>(1) 入所児童の状況</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>計</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男子</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>6人</td> <td>△2人</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>△3人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>4人</td> <td>1人</td> <td>9人</td> <td>△5人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th colspan="4">(出身地別内訳)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>埼玉県</td> <td>1人</td> <td>兵庫県</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>滋賀県</td> <td>1人</td> <td>京都府</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>愛媛県</td> <td>5人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					学年	3年	4年	5年	6年	計	前年比	男子	1人	2人	3人	0人	6人	△2人	女子	0人	1人	1人	1人	3人	△3人	計	1人	3人	4人	1人	9人	△5人	(出身地別内訳)				埼玉県	1人	兵庫県	1人	滋賀県	1人	京都府	1人	愛媛県	5人		
	学年	3年	4年	5年	6年	計	前年比																																										
	男子	1人	2人	3人	0人	6人	△2人																																										
女子	0人	1人	1人	1人	3人	△3人																																											
計	1人	3人	4人	1人	9人	△5人																																											
(出身地別内訳)																																																	
埼玉県	1人	兵庫県	1人																																														
滋賀県	1人	京都府	1人																																														
愛媛県	5人																																																
<p>2 収支決算書 ※正職員人件費を除く</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>3年度</th> <th>2年度</th> <th>差引増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳出</td> <td>15,424,902円</td> <td>19,236,171円</td> <td>△ 3,811,269円</td> </tr> <tr> <td>歳入</td> <td>3,818,773円</td> <td>5,174,118円</td> <td>△ 1,355,345円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※歳出の減少については、2年度に空調機設置工事を行ったためである。</p>					年度	3年度	2年度	差引増減	歳出	15,424,902円	19,236,171円	△ 3,811,269円	歳入	3,818,773円	5,174,118円	△ 1,355,345円																																	
年度	3年度	2年度	差引増減																																														
歳出	15,424,902円	19,236,171円	△ 3,811,269円																																														
歳入	3,818,773円	5,174,118円	△ 1,355,345円																																														
<p>3 山村留学センター運営事業</p> <p>(1) 開催日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月3日～4日 夏海キャンプ（伊方町）</li> <li>・ 9月4日 高市川の沢登り</li> <li>・ 10月9日 石鎚山登山</li> <li>・ 11月13日、27日 炭焼き体験</li> </ul>																																																	
自己評価	B	評価理由	共同生活や自然体験を通して児童の健全育成を図り、地域に溶け込んだ事業を展開する等、概ね目標とする成果であった。																																														
方向性	維持																																																
課題	留学児童の安定確保																																																
課題に対する取組	高市地区や留学センターの魅力を、SNS等を活用して情報発信する。																																																

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	教育力の向上					
事業No.	18	事業名	学校間連携推進事業		決算額	—
事業目的	校長会等を通じ、学校間及び教育委員会で情報を共有し、問題の解決や未然防止に当たり、健全な学校運営を図る。					
取組内容及び成果	<p>1 校長会の開催 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校行事の精選や学校運営、また教職員による不祥事防止策などの共通認識を図るため、中予教育事務所（管理主事）を交えて会議を開催した。</p> <p>(1) 開催頻度 8回/年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校行事の精選</li> <li>・ 教職員の綱紀粛正の保持</li> <li>・ タブレット端末を効果的に活用した学習の推進</li> <li>・ 修学旅行、自然の家、長期休暇中の過ごし方等学校経営について</li> </ul> <p>2 行事打合せ会 各種行事における学校と教育委員会事務局との連携を密するため、毎月1回開催した。</p> <p>(1) 開催回数 11回（8月を除く）</p> <p>3 共同学校事務室の運営 拠点校を砥部中学校とする「砥部町共同学校事務室」を形成している。事務長を地域長とし、構成校の学校事務を組織的に処理することにより、学校事務の平準化と効率化を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人事異動に伴う諸手当の認定</li> <li>・ 給与管理表の確認</li> <li>・ 年末調整</li> <li>・ 期末勤勉、査定昇給</li> <li>・ 就学援助申請関係</li> <li>・ 人事異動関係</li> </ul>					
自己評価	B	評価理由	必要に応じて会議を開催したことにより、学校運営に対する適切な指導や情報を共有することができ、概ね目標とする成果であった。			
方向性	維持					
課題	広田小学校の統合加配終了に伴う教職員の負担軽減					
課題に対する取組	事務職員の配置がない広田小学校の負担を軽減するため、共同事務室がある砥部中学校での事務の効率化や、事務をサポートする人員を確保する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係		
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。						
主要施策	安全・安心の充実した教育環境の整備						
事業No.	19	事業名	学校施設整備・維持管理		決算額	303,459,972円	
事業目的	校舎等の学校施設を適切に管理し、安全・安心な学習環境を整備する。						
取組内容及び成果	1 小中学校管理費 (単位：円)						
		人件費	消耗品	光熱/燃料費	委託料	工事/修繕料	その他
	麻生小	0	2,694,027	6,044,221	2,312,459	14,222,490	4,019,749
	宮内小	0	2,497,608	4,938,736	7,112,049	168,171,059	4,618,165
	砥部小	0	1,897,558	4,500,382	3,088,305	13,273,051	5,572,623
	広田小	0	917,891	2,082,090	4,482,991	3,645,291	2,918,523
	人件費	10,730,609	0	0	0	0	0
	小学校計	10,730,609	8,007,084	17,565,429	16,995,804	199,311,891	17,129,060
	砥部中	0	4,320,917	11,556,634	8,698,556	7,826,770	8,417,008
	人件費	1,951,362	0	0	0	0	0
中学校計	1,951,362	4,320,917	11,556,634	8,698,556	7,826,770	8,417,008	
	2 主要事業（再掲） ※工事費には監理委託費含む。						
	(1) 校舎等大規模改修工事（宮内小） 173,829,081円(※設計はR2年度実施)						
	(2) ブロック塀改修工事(防護柵工 L=13m)（麻生小） 3,624,000円						
	(3) 非常用放送設備更新工事(壁掛形非常放送設備取替等)（宮内小・砥部小） 1,650,000円						
	(4) フェンス設置工事(2箇所 L=13.6m)（宮内小） 748,000円						
	(5) 支障木剪定伐採撤去工事(対象木：50箇所)（砥部小） 1,268,800円						
	(6) 段差解消及びカーテン設置工事（砥部小） 762,300円						
	(7) トイレ改修工事（広田小） 1,141,000円						
自己評価	B	評価理由	予定していた事業を年度内に終えることができた。また、突発的な修繕にも学校活動への影響を与えることなく対応することができたことで、概ね目標とする成果であった。				
方向性	維持						
課題	トイレの洋式化、照明のLED化、バリアフリー化						
課題に対する取組	事業規模の平準化等を考慮し、計画的に実施する。						

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	安全・安心の充実した教育環境の整備					
事業No.	20	事業名	小学校校舎等大規模改修工事		決算額	173,829,081円
事業目的	子ども達に安全・安心な教育の場を提供するとともに、避難所運営も考慮した施設の長寿命化を図る。					
取組内容及び成果	<p>1 宮内小学校大規模改修工事</p> <p>(1) 工事概要 (校舎棟)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外壁改修 (ひび割れ補修、欠損部改修、爆裂部改修、モルタル浮き補修 他)</li> <li>・ 防水改修工事 (シート防水、ウレタン塗膜防水 他)</li> <li>・ 天井裏改修 (爆裂部補修)</li> <li>・ 東側コンクリート塀改修 (ひび割れ補修、爆裂部補修、塗装)</li> <li>・ 自動水栓化改修 (壁付自動水栓222個)</li> </ul> <p>(2) 工事概要 (屋内運動場棟)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋根改修工事(塗装)</li> <li>・ 防水改修工事 (シート防水、ウレタン塗膜防水 他)</li> <li>・ 外壁改修 (ひび割れ補修、欠損部補修、爆裂部補修、モルタル浮き補修 他)</li> <li>・ トイレ改修工事 (洋式化及び多目的トイレ新設)</li> <li>・ アリーナ高天井照明LED化改修 (25基)</li> </ul> <p>2 工事費</p> <p>(1) 設計委託料 5,186,081円 (令和2年度実施)</p> <p>(2) 工事費 163,693,000円</p> <p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ LED化改修 11,245,335円</li> <li>・ トイレ改修 23,019,122円</li> <li>・ 上記以外の屋内運動場改修 27,789,452円</li> </ul> <p>(3) 監理委託料 4,950,000円</p> <p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ LED化改修 341,550円</li> <li>・ トイレ改修 697,950円</li> <li>・ 上記以外の屋内運動場改修 841,500円</li> </ul>					
自己評価	B	評価理由	必要に応じて変更を行い、年度内に完了したことで、概ね目標とする成果であった。			
方向性	廃止					
課題						
課題に対する取組						

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	安全・安心の充実した教育環境の整備					
事業No.	21	事業名	学校安全対策事業		決算額	123,330円
事業目的	子どもが安心して、学校生活等を営む環境を確保する。					
取組内容及び成果	<p>1 通学路安全対策事業</p> <p>砥部町通学路安全対策プログラムに基づいて、学校、教育委員会及び関係機関等が連携して合同点検を行うとともに、通学路安全推進会議の協議結果を基に、安全対策を実施した。</p> <p>(1) 対策必要箇所 23箇所（うち対策済 18箇所）対策実施率 78%</p> <p>(2) 対策例 横断歩道・外側線引き直し、路肩幅拡張、路面標示シール設置 等</p> <p>2 防犯対策事業</p> <p>凶悪犯罪から子どもを守るため、児童生徒の見守り活動を中心とした防犯活動を実施した。</p> <p>(1) 青色防犯パトロール 各校1～4回/月 早朝・放課後実施</p> <p>(2) 防犯ブザー配布（小学校新1年生） 配布個数 174個</p> <p>(3) スクールガード養成講習会 教職員、PTA役員等 42人参加（講師：松山南警察署 生活安全課長）</p> <p>3 学校防災力強化事業</p> <p>(1) 砥部町防災教育推進連絡協議会</p> <p>東日本大震災、熊本地震等の大規模災害を教訓に、避難所となる学校の防災力強化を図るため、愛媛県県民環境部防災局危機管理監の講演を実施し、各校の防災力を高め、避難所運営能力の向上を図った。</p> <p>（参加者 16人） 町内公立保育所、幼稚園、認定こども園、小・中学校、松山南高校砥部分校 町防災・避難所担当課、学校教育課</p>					
自己評価	B	評価理由	関係機関による通学路安全点検を行い、対応するとともに、学校の防災対策について研修会を開催する等、概ね目標とする成果であった。			
方向性	維持					
課題	私的財産の改修又は地理的条件により対応が困難な事案の解決					
課題に対する取組	私的財産の改修については、関係機関に対し財政的な支援を要請し、また、地理的条件により対応が困難な事案については、通学路を変更する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係																																									
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																																													
主要施策	安全・安心の充実した教育環境の整備																																													
事業No.	22	事業名	感染症対策事業		決算額	29,143,107円																																								
事業目的	集団感染のリスクを避け、安心して学ぶことができる体制を整備する。																																													
取組内容及び成果	1 新型コロナウイルス感染症対策事業 4,668,107円 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による集団感染のリスクを避け、安心して学ぶことができる体制の整備を促進した。 (1) 備品・消耗品の購入 4,668,107円 (小学校 3,562,368円・中学校 1,105,739円)																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>消耗品</th> <th>備品</th> <th>種目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>麻生小学校</td> <td>572,400円</td> <td>272,580円</td> <td>電子体温計、モニタ型AIサーマルカメラ等</td> </tr> <tr> <td>宮内小学校</td> <td>809,887円</td> <td>397,420円</td> <td>アルコールディスペンサー、モニタ型AIサーマルカメラ等</td> </tr> <tr> <td>砥部小学校</td> <td>256,026円</td> <td>342,640円</td> <td>アルコールディスペンサー、サーキュレーター等</td> </tr> <tr> <td>広田小学校</td> <td>115,375円</td> <td>796,040円</td> <td>使い切りマスク、加湿機能付き空気清浄機等</td> </tr> <tr> <td>砥部中学校</td> <td>791,359円</td> <td>314,380円</td> <td>ペーパータオル、パーティションホワイトボード等</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,545,047円</td> <td>2,123,060円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					学校名	消耗品	備品	種目	麻生小学校	572,400円	272,580円	電子体温計、モニタ型AIサーマルカメラ等	宮内小学校	809,887円	397,420円	アルコールディスペンサー、モニタ型AIサーマルカメラ等	砥部小学校	256,026円	342,640円	アルコールディスペンサー、サーキュレーター等	広田小学校	115,375円	796,040円	使い切りマスク、加湿機能付き空気清浄機等	砥部中学校	791,359円	314,380円	ペーパータオル、パーティションホワイトボード等	合計	2,545,047円	2,123,060円														
	学校名	消耗品	備品	種目																																										
	麻生小学校	572,400円	272,580円	電子体温計、モニタ型AIサーマルカメラ等																																										
	宮内小学校	809,887円	397,420円	アルコールディスペンサー、モニタ型AIサーマルカメラ等																																										
	砥部小学校	256,026円	342,640円	アルコールディスペンサー、サーキュレーター等																																										
	広田小学校	115,375円	796,040円	使い切りマスク、加湿機能付き空気清浄機等																																										
	砥部中学校	791,359円	314,380円	ペーパータオル、パーティションホワイトボード等																																										
	合計	2,545,047円	2,123,060円																																											
	(2) 自動水栓設備の整備 24,475,000円 (小学校 19,550,000円・中学校 4,925,000円)																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>種別</th> <th>整備台数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">麻生小学校</td> <td>壁付け自動水栓</td> <td>190台</td> <td rowspan="2">9,058,000円</td> </tr> <tr> <td>台付け自動水栓</td> <td>13台</td> </tr> <tr> <td>宮内小学校</td> <td>壁付け自動水栓</td> <td>222台</td> <td>大規模改修工事に含む</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">砥部小学校</td> <td>壁付け自動水栓</td> <td>77台</td> <td rowspan="2">8,754,000円</td> </tr> <tr> <td>台付け自動水栓</td> <td>66台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">広田小学校</td> <td>壁付け自動水栓</td> <td>22台</td> <td rowspan="2">1,738,000円</td> </tr> <tr> <td>台付け自動水栓</td> <td>10台</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">砥部中学校</td> <td>壁付け自動水栓</td> <td>27台</td> <td rowspan="3">4,925,000円</td> </tr> <tr> <td>台付け自動水栓</td> <td>41台</td> </tr> <tr> <td>小便器フラッシュバルブ</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">合計</td> <td>壁付け自動水栓</td> <td>538台</td> <td rowspan="3">24,475,000円</td> </tr> <tr> <td>台付け自動水栓</td> <td>130台</td> </tr> <tr> <td>小便器フラッシュバルブ</td> <td>4台</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	種別	整備台数	金額	麻生小学校	壁付け自動水栓	190台	9,058,000円	台付け自動水栓	13台	宮内小学校	壁付け自動水栓	222台	大規模改修工事に含む	砥部小学校	壁付け自動水栓	77台	8,754,000円	台付け自動水栓	66台	広田小学校	壁付け自動水栓	22台	1,738,000円	台付け自動水栓	10台	砥部中学校	壁付け自動水栓	27台	4,925,000円	台付け自動水栓	41台	小便器フラッシュバルブ	4台	合計	壁付け自動水栓	538台	24,475,000円	台付け自動水栓	130台	小便器フラッシュバルブ	4台
学校名	種別	整備台数	金額																																											
麻生小学校	壁付け自動水栓	190台	9,058,000円																																											
	台付け自動水栓	13台																																												
宮内小学校	壁付け自動水栓	222台	大規模改修工事に含む																																											
砥部小学校	壁付け自動水栓	77台	8,754,000円																																											
	台付け自動水栓	66台																																												
広田小学校	壁付け自動水栓	22台	1,738,000円																																											
	台付け自動水栓	10台																																												
砥部中学校	壁付け自動水栓	27台	4,925,000円																																											
	台付け自動水栓	41台																																												
	小便器フラッシュバルブ	4台																																												
合計	壁付け自動水栓	538台	24,475,000円																																											
	台付け自動水栓	130台																																												
	小便器フラッシュバルブ	4台																																												
自己評価	B	評価理由	予定していた感染対策を実施することができたことで、概ね目標とする成果であった。																																											
方向性	維持																																													
課題	感染症対策についての教職員の負担軽減																																													
課題に対する取組	感染予防に必要な物品を確保する。																																													

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	社会教育係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	ニーズに合わせた学習機会の充実					
事業No.	23	事業名	国際交流事業		決算額	2,600,000円
事業目的	海外の一流音楽や様々な国の文化にふれることで国際感覚豊かな人材育成を図る。					
取組内容及び成果	<p>1 国際交流サマースクールの開催</p> <p>町内小学生と県内小中学生及び海外留学生等が集い、寝食を共にする1泊3日のキャンプを行った。</p> <p>(1) 開催日 8月7日(土)～9日(月) 旧高市小学校、陶街道ゆとり公園武道場で開催</p> <p>(2) 参加者 町内の小学生31人を含む55人と愛媛大学の留学生11人 モザンビーク(1人) フィリピン(4人) インドネシア(4人) インド(1人) ウガンダ(1人)</p> <p>(3) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開校式(留学生らの自己紹介、踊りなどのパフォーマンス)</li> <li>・ ワークショップ</li> <li>・ 泡フェスティバル(えひめこどもの城協力による)</li> <li>・ 花火大会</li> <li>・ 柔道体験など</li> </ul> <p>2 ショパンビレッジフェスティバルin砥部町の開催</p> <p>ピアノコンサートスクリーン上映とライブパフォーマンスの二本立てで開催した。</p> <p>(1) 開催日 11月14日(日)</p> <p>(2) 参加者 235人</p> <p>(3) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ピアノ&amp;バイオリン アンサンブル上映</li> <li>・ パフォーマンス 舞台「女生徒」より</li> <li>・ キッチンカー、ポーリッシュショップ</li> </ul>					
自己評価	B	評価理由	予定どおり事業を実施することができたことで、概ね目標とする成果であった。			
方向性	維持					
課題	コロナ禍での国際交流事業のあり方の明確化					
課題に対する取組	ICTを活用した国際交流事業を展開する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	公民館係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	ニーズに合わせた学習機会の充実					
事業No.	24	事業名	公民館活動事業		決算額	4,568,476円
事業目的	住民への学習の場を提供するため、子ども・成人・高齢者など幅広い世代を対象とした講座、教室等を開催する。					
取組内容及び成果	<p>1 中央公民館の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ とべっ子文化の広場教室（24教室 受講生212人）</li> <li>・ つくり育てる花教室（年3回 61人）</li> <li>・ とべっ子ふれあい国際交流デイキャンプ（年3回 延べ119人）</li> <li>・ 新春囲碁・将棋大会（2日間 20人）</li> <li>・ 生き生きシルバークラブ（年3回 延べ61人）</li> <li>・ 国際教養講座（年20回 延べ254人）</li> <li>・ ポーランド語講座（年10回 延べ66人）</li> <li>・ 英会話教室（年30回 延べ385人）</li> </ul> <p>※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した事業 ふるさと探訪、陶街道五十三次めぐり、まなびや事業、分館長総会</p> <p>2 千里地区公民館の事業</p> <p>※ 千里地区公民館夏祭り※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>3 ひろた交流センターの事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流センター文化教室（3教室 受講生30人）</li> <li>・ ひろた子どもあそび広場（科学体験教室（2回）・料理教室・文化財めぐり 延べ47人）</li> <li>・ ファミリースポーツ選手権[ソフトボール]（年1回 66人）</li> <li>・ 秋季大運動会（広小・広保・ひろた交流センター合同）（年1回 約100人）</li> </ul>					
自己評価	B	評価理由	当初予定していた事業が新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業の縮小や中止を余儀なくされたが、感染対策を行い、可能な限り実施することができたことで、概ね目標とする成果であった。			
方向性	維持					
課題	これからの公民館活動のあり方の明確化					
課題に対する取組	アンケート調査等で住民ニーズを把握し、住民の自発的な学習を促進するとともに、町の関わりを明確にする。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	活動の場づくりと担い手の充実					
事業No.	25	事業名	文化会館・図書館管理運営		決算額	100,226,642円
事業目的	住民の芸術文化の創造と生涯学習の推進を図るとともに、図書、記録等の資料を収集し、住民の利用に供する。					
取組内容及び成果	<p>砥部町文化会館条例及び砥部町立図書館条例等に基づき、指定管理者であるアクティオ株式会社が管理運営している。</p> <p>【臨時休館】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため 4/9～5/31、8/20～9/30</p> <p>1 文化会館</p> <p>(1) 文化会館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太鼓芸能集団 鼓童～至高ノ響キ～（7月） 466人</li> <li>・ 第13回ピアノ分解教室（8月） 30人</li> <li>・ 愛媛を代表するピアニストによるガラコンサート（11月） 291人</li> <li>・ 立川志の輔独演会（12月） 764人</li> <li>・ 開館20周年記念 チャリティ感謝デー（12月） 1,200人</li> <li>・ カルチャー教室等各種教室（通年） 1,472人</li> </ul> <p>(2) 利用者数 28,247人（うち、ホール 14,514人、会議室 9,759人）</p> <p>(3) ふれあいホール稼働率 62.3%（稼働日数 159日／開館日数 255日）</p> <p>2 図書館</p> <p>(1) 図書館貸出人数 29,632人</p> <p>(2) 図書館貸出冊数 114,389冊（1日あたり利用者数140人／開館日数212日）</p> <p>(3) 図書館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おはなし会（毎月第1・第3土曜日） 74人</li> <li>・ にこにこほっぺのおはなし会（毎月第2月曜日） 50人</li> <li>・ ひろたみんなのおはなし会（毎月第1木曜日） 62人</li> <li>・ ブックスタート（4か月児 毎月、7か月児 奇数月） 109人</li> <li>・ ポップDEビブリオ2021（年1回） 23人</li> <li>・ 図書館たんけん隊（夏休み中4回） 32人</li> <li>・ 読書記録帳（登録者数） 193人</li> </ul>					
自己評価	B	評価理由	新型コロナウイルス感染拡大の影響により一時休館を行ったが、感染対策を講じながらサービスの低下を招かない最大限の工夫を行い運営したことで、概ね目標とする成果であった。			
方向性	維持					
課題	住民の読書活動の推進					
課題に対する取組	電子図書館を普及させるとともに、学校とタイアップして児童生徒の読書活動を推進する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	公民館係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	活動の場づくりと担い手の充実					
事業No.	26	事業名	公民館施設管理		決算額	19,765,259円
事業目的	安全で快適な生涯学習の場を、住民に提供する。					
取 組 内 容 及 び 成 果	1 中央公民館（体育館含む） 14,941,293円					
	【中央公民館】					
	主催事業		その他利用状況（貸館）		合計	
	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
	495回 (61回)	4,785人 (619人)	1,021回 (41回)	15,947人 (1,173人)	1,516回 (102回)	20,732人 (1,792人)
	※ 主催事業には、文化教室の利用実績を含んでいる。					
	※ （ ）については、日、祝日の利用実績である。					
	【中央公民館体育館】					
	利用回数	利用人数				
	712回	11,309人				
2 千里地区公民館 1,041,561円						
主催事業		その他利用状況（貸館）		合計		
利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	
0回	0人	71回	472人	71回	472人	
3 ひろた交流センター 3,782,405円						
主催事業		その他利用状況（貸館）		合計		
利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	
46回	626人	87回	1,814人	133回	2,440人	
※ 主催事業には、文化教室の利用実績を含んでいる。						
自己評価	B	評価理由	新型コロナウイルス感染拡大防止のため施設の利用を中止する期間があったが、休日を開館し、感染症対策を適切に行い、住民の利用に供したことで、概ね目標とする成果であった。			
方向性	維持					
課題	中央公民館の休日の利用の促進					
課題に対する取組	町が主催し、休日に多様な世代に対し幅広く事業展開することで、中央公民館の認知度を高める。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	社会教育係
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。				
主要施策	活動の場づくりと担い手の充実				
事業No.	27	事業名	青少年健全育成事業	決算額	593,292円
事業目的	青少年の非行を防止するとともに、社会への参画意欲や自立への意欲等を促進する。				
取組内容及び成果	<p>1 青少年育成センター 教育委員会に事務局を置き、青少年に関する相談事業や登校指導・街頭補導等を行い、青少年の健全育成、非行防止のための活動を行った。</p> <p>(1) 組織</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補導員 町職員 1人</li> <li>・ 補導委員 34人 (砥部 32人・広田 2人)</li> </ul> <p>(2) 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例補導委員会 5回 ※通常12回 (1回/月)</li> <li>・ 登校指導 101回 (町内15ヵ所)</li> <li>・ 街頭補導 17回 (19時30分～21時00分)</li> <li>・ 啓発活動 (リーフレット発行) 2,500部</li> </ul> <p>2 とべっ子志縁倶楽部 (ボランティア事業) 小・中学校放課後の学習支援活動や登下校の見守り活動、読書支援活動を行った。</p> <p>(1) 会員数 40人</p> <p>(2) 放課後学習講座 (学習指導) 砥部中学校 2回/週</p> <p>(3) 放課後わくわくクラブ (学習指導) 麻生・宮内・砥部小学校 1回/週</p> <p>(4) 登下校見守り活動 最寄りの場所又は中学校指定の場所で随時</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1学期の5月、2学期の9月及び3学期は中止</p> <p>3 青少年健全育成事業 令和4年度から実施する野外活動を通じた青少年健全育成事業 (とべの里冒険クラブ) のボランティアリーダーを養成するため、様々な体験活動を行った。</p> <p>(1) 参加人数 23人 (医療技術大学8人、松山大学15人)</p> <p>(2) 実施プログラム 文化財巡り (1回) 砥部焼作り体験 (2回) 野外キャンプ体験 (2回)</p> <p>※ 全8回を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため5回の実施</p>				
自己評価	B	評価理由	コロナ禍で可能な範囲で事業を展開したことで、概ね目標とする成果であった。		
方向性	維持				
課題	補導委員の負担軽減及び効果的な補導活動の展開				
課題に対する取組	事務的な会議を見直すとともに、実態に即した活動を展開する。				

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	社会教育係																																											
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。																																															
主要施策	互いの人権を尊重する社会の構築																																															
事業No.	28	事業名	人権教育・人権対策推進事業		決算額	4,959,993円																																										
事業目的	人権問題の解消に向けて、町民一人ひとりが様々な人権問題に対する理解を深め、人権意識の高揚を図る。																																															
取組内容及び成果	<p>1 人権教育の推進・啓発</p> <p>町民一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、研修会や講座などの事業を実施した。</p> <p>(1) 人権教育基礎講座：11月～12月に計6回の講座を開催 受講者数 304人（前年293人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>講師</th> <th>演題</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月4日</td> <td>社会教育指導員 大島進氏</td> <td>人権問題入門～みんなの幸せを目指して～</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>11月11日</td> <td>愛媛大学法文学部 教授 小佐井良太氏</td> <td>子どもの安全と人権～子どもを事故から守るために～</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>11月18日</td> <td>西条市広域隣保活動 相談員 近藤誠氏</td> <td>その人らしく生きるために～老いと笑顔とありがとう～</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>11月25日</td> <td>松山市人権啓発課 指導員 齊藤照夫氏</td> <td>家庭・地域社会の人権意識を高めるために～人権教育と道徳教育のコラボレーションを通して～</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>12月2日</td> <td>県人権教育協議会 会長代行 米田孝弘氏</td> <td>厳冬に耐えて咲く</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>12月9日</td> <td>愛媛大学 人権センター長 壽卓三氏</td> <td>LGBT+Qの言葉があらわにすることと見えなくすること</td> <td>48人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 人権巡回学習会 3地区、53人参加（前年3地区、59人参加）</p> <p>(3) 啓発活動 広報とべ掲載（年4回）、人権カレンダー配布 8,200部</p> <p>2 人権対策活動</p> <p>生活、体調、教育および就労などの地域住民が抱える相談を広域隣保活動相談員が指導、助言及び関係機関への連絡調整を行った。</p> <p>(1) 相談件数 100件（電話25件 来庁23件 訪問52件） ※ 前年195件</p> <p>3 人権関係研修会等への参加</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>大会名</th> <th>開催地</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛媛県人権・同和教育研究大会</td> <td>松山市</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>四国地区人権教育研究大会</td> <td>松山市</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>中予地区人権・同和教育研究協議会</td> <td>松前町</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>人権啓発土曜講座</td> <td>伊予市他</td> <td>16人</td> </tr> </tbody> </table>					月日	講師	演題	人数	11月4日	社会教育指導員 大島進氏	人権問題入門～みんなの幸せを目指して～	51人	11月11日	愛媛大学法文学部 教授 小佐井良太氏	子どもの安全と人権～子どもを事故から守るために～	52人	11月18日	西条市広域隣保活動 相談員 近藤誠氏	その人らしく生きるために～老いと笑顔とありがとう～	53人	11月25日	松山市人権啓発課 指導員 齊藤照夫氏	家庭・地域社会の人権意識を高めるために～人権教育と道徳教育のコラボレーションを通して～	50人	12月2日	県人権教育協議会 会長代行 米田孝弘氏	厳冬に耐えて咲く	50人	12月9日	愛媛大学 人権センター長 壽卓三氏	LGBT+Qの言葉があらわにすることと見えなくすること	48人	大会名	開催地	参加者数	愛媛県人権・同和教育研究大会	松山市	24人	四国地区人権教育研究大会	松山市	25人	中予地区人権・同和教育研究協議会	松前町	26人	人権啓発土曜講座	伊予市他	16人
	月日	講師	演題	人数																																												
	11月4日	社会教育指導員 大島進氏	人権問題入門～みんなの幸せを目指して～	51人																																												
	11月11日	愛媛大学法文学部 教授 小佐井良太氏	子どもの安全と人権～子どもを事故から守るために～	52人																																												
	11月18日	西条市広域隣保活動 相談員 近藤誠氏	その人らしく生きるために～老いと笑顔とありがとう～	53人																																												
	11月25日	松山市人権啓発課 指導員 齊藤照夫氏	家庭・地域社会の人権意識を高めるために～人権教育と道徳教育のコラボレーションを通して～	50人																																												
	12月2日	県人権教育協議会 会長代行 米田孝弘氏	厳冬に耐えて咲く	50人																																												
	12月9日	愛媛大学 人権センター長 壽卓三氏	LGBT+Qの言葉があらわにすることと見えなくすること	48人																																												
	大会名	開催地	参加者数																																													
	愛媛県人権・同和教育研究大会	松山市	24人																																													
四国地区人権教育研究大会	松山市	25人																																														
中予地区人権・同和教育研究協議会	松前町	26人																																														
人権啓発土曜講座	伊予市他	16人																																														
自己評価	B	評価理由	人権教育基礎講座は、毎回約50名の受講者数を確保できた。人権教育巡回学習会は、内容を見直し、DVDの視聴及び意見発表だけでなく、各学校の人権に関する取組を地域住民に情報提供した。新型コロナウイルス感染拡大で制限を受ける中、感染対策を行い開催したことで概ね目標とする成果であった。																																													
方向性	拡大																																															
課題	基礎講座参加者が固定化しているため、企業を対象とする等、新たな分野への拡大																																															
課題に対する取組	町内企業に対し、商工会と連携して人権基礎講座への参加を促進する。																																															

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	社会教育係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	男女共同参画の推進					
事業No.	29	事業名	女性団体育成支援事業		決算額	5,060円
事業目的	女性の人権問題や社会参画についての学習を通して、課題解決に向けた自発的な取組みを支援する。					
取組内容及び成果	<p>1 女性団体育成事業</p> <p>女性活躍の推進を図るため、町内で主に女性が中心となって活動している団体及び団体の女性専門部で組織する砥部町女性団体連絡協議会に対し、問題解決に向けた研修を開催する等、側面から支援を行った。</p> <p>(1) 所属団体</p> <p>砥部町商工会女性部 交番レディース連絡協議会 砥部日赤奉仕団 更生保護女性会 老人クラブ女性部 砥部町食生活改善推進協議会</p> <p>(2) 主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性教育推進研修（西予市との交流研修） 7人</li> <li>・ 「芸術文化フェスタ」ボランティア協力 10人</li> </ul> <p>2 その他事業</p> <p>女性団体連絡協議会に町・県・外部団体の主催する研修会での学習機会を提供した。</p> <p>(1) 研修会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一日食品衛生監視員事業 14人</li> <li>・ 地域エンパワーメントカレッジ 15人</li> <li>・ 砥部町人権教育基礎講座 1人</li> <li>・ 砥部町人権の町づくり集会 7人</li> </ul>					
自己評価	B	評価理由	女性団体連絡協議会の会議において当該団体の課題を抽出し、ボランティア活動や他団体との交流を通して、女性団体の活性化を図る等適切に支援したことで、概ね目標とする成果であった。			
方向性	拡大					
課題	女性に関する様々な問題提起等、自発的な活動の展開					
課題に対する取組	視察研修の充実、講演会等の企画運営をサポートすることにより、団体の活性化を促す。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	文化財保護と継承					
事業No.	30	事業名	文化財保護事業		決算額	517,164円
事業目的	文化財保護意識の啓発とともに、潜在文化財の調査研究を行い、必要に応じて文化財として指導する等、適切に文化財等を保護する。					
取組内容及び成果	<p>1 文化財保護審議会 町内にある文化財の保存と活用を図るため、文化財保護に関する協議を行ったほか、指定候補物件の調査、研究などを行った。 (1) 文化財保護審議会の開催（文化財保存活用地域計画、愛媛大学との連携事業など） (2) 砥部焼窯跡調査（北川毛窯跡群など）</p> <p>2 町指定文化財説明看板等修繕工事 (1) 砥石山の説明看板の修繕</p> <p>3 砥部焼の歴史・文化の調査研究 本町の歴史文化の特徴の一つである砥部焼について、愛媛大学と連携するなど関係機関と協力のうえ、古文書の撮影・解読や窯跡調査など調査研究を行った。 (1) 坪内家文書の撮影・解読（愛媛大学連携協定事業） (2) 砥部焼窯跡調査 約10地点</p>					
自己評価	B	評価理由	愛媛大学など関係機関と連携して、窯跡調査や坪内家文書の撮影・解読など砥部焼の歴史・文化の調査を行ったことで、概ね目標とする成果であった。			
方向性	維持					
課題	調査によって判明した窯跡遺跡等の保存					
課題に対する取組	埋蔵文化財包蔵地の指定を進めるとともに、埋蔵文化財包蔵地を広く住民に周知する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係																
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。																				
主要施策	文化財の活用																				
事業No.	31	事業名	文化財の活用		決算額	285,744円															
事業目的	文化財への理解を深め、文化財に親しむ機会を図るとともに、井上正夫の資料収集及び当該資料の公開等により、気軽に学べる機会を提供する。																				
取組内容及び成果	<p>1 歴史講座の開催                      砥部の文化や歴史を学んでもらうため、町民を対象とした歴史講座を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> <th>講師</th> <th>タイトル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月23日</td> <td>20人</td> <td>谷若倫郎</td> <td>考古資料からみた原始の砥部</td> </tr> <tr> <td>11月6日</td> <td>19人</td> <td>十亀幸雄</td> <td>歴史探訪 麻生の水争い</td> </tr> <tr> <td>12月11日</td> <td>15人</td> <td>矢野徹志</td> <td>アートの里の原風景 陶街道水車物語り</td> </tr> </tbody> </table>					開催日	参加者数	講師	タイトル	10月23日	20人	谷若倫郎	考古資料からみた原始の砥部	11月6日	19人	十亀幸雄	歴史探訪 麻生の水争い	12月11日	15人	矢野徹志	アートの里の原風景 陶街道水車物語り
	開催日	参加者数	講師	タイトル																	
	10月23日	20人	谷若倫郎	考古資料からみた原始の砥部																	
	11月6日	19人	十亀幸雄	歴史探訪 麻生の水争い																	
	12月11日	15人	矢野徹志	アートの里の原風景 陶街道水車物語り																	
<p>2 町文化財めぐり                      町の歴史や文化に触れ、町の魅力を再発見してもらうため、町文化財保護審議会委員からの説明を交えて、麻生の水争いにまつわる文化財を巡った。</p> <p>(1) 参加者 11人                      (2) 場所 赤坂泉、懸樋跡、窪田兵右衛門の墓、衣更着神社 など</p>																					
<p>3 文化財展示【井上正夫資料（町文化会館）】【埋蔵文化財（中央公民館）】                      年間を通じて、町の名優井上正夫の資料（展示替え2回）や本町で出土した埋蔵文化財の展示を行った。</p> <p>(1) 常設展示室                      ・ 井上正夫資料（町文化会館）                      ・ 埋蔵文化財（中央公民館）</p>																					
<p>4 所蔵レコードデジタル化（CD10枚）                      資料室所蔵のレコードのデジタル化を実施した。</p>																					
自己評価	B	評価理由	通年の文化財展示のほか、歴史講座や文化財めぐりなどの体験的な活動も実施し、歴史や文化に親しむ多様な機会を提供したことで、概ね目標とする成果であった。																		
方向性	維持																				
課題	参加者が中高年齢層で固定化しているため、若年層をターゲットとした事業の展開																				
課題に対する取組	歴史講座に人権問題を絡める等、政策間連携によって多様な世代の興味を引く事業を展開する。																				

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	文化財の活用					
事業No.	32	事業名	坂村真民記念館		決算額	23,941,643円
事業目的	砥部町の名誉町民である坂村真民に関する資料を収集し、当該資料を住民に供覧し、真民詩を全国に発信する等により、真民詩を後世に伝える。					
取組内容及び成果	1 年間入館者数					
		年度	有料	無料	計	
		3年度	1,890人	1,259人	3,149人	
		2年度	2,239人	1,260人	3,499人	
	2 企画展（特別展）					
	タイトル	内 容	期 間	入館者数		
	開館9周年記念特別展 「海野阿育と坂村真民の世界」	真民詩を独自の絵の世界で表現してきた海野阿育さんの版画を一堂に集め展示	令和3年2月20日～ 令和3年8月29日	1,639人		
	企画展「かなしみをあため あってあるいてゆこう」	真民と交流のあった「北濱普門さんの仏画」と真民詩のコラボ展	令和3年10月1日～ 令和4年2月27日	1,483人		
	開館10周年記念特別展 「砥部の砥石で己れを磨け」	これまでの展示の集大成として、来館者の真民詩ベスト15を選出し、展示	令和4年3月5日～ 令和4年8月28日 ※入館者数は3/31までの集計	590人		
	3 開館10周年記念イベント 俳人の夏井いつきさんの講演のほか、真民詩を歌う合唱コンサートや、県内の中学生・高校生を対象に「真民さんへのメッセージ」を募集し、優秀作品を表彰した。 (1) 開催日 令和4年3月12日 (2) 場 所 文化会館ふれあいホール (3) 来場者 300人					
自己評価	B	評価理由 開館から10年を経過するにあたり、10周年記念イベントを実施し、坂村真民詩及び坂村真民記念館を町内外に広くPRした。また、「真民さんへのメッセージ」を募集し、真民詩を読んで感じたことや詩に込められた真民の想いを表現してもらうことで、真民詩に理解と共感を得られた。記念館の目的に沿って、開館10周年記念事業、企画展示を行ったことで、概ね目標とする成果であった。				
方向性	維持					
課題	真民ファンの高齢化に伴う若年層の獲得					
課題に対する取組	若年層に対し、真民詩を読んで感じたことや、真民さんへのメッセージを募集する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係										
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。														
主要施策	地域伝統文化の継承														
事業No.	33	事業名	地域伝統文化保存伝承事業	決算額	6,826円										
事業目的	伝統芸能の保存団体等が行う保存伝承活動を支援するとともに、地域の伝統的な祭りや行事の現状及び変容の実態を把握し記録する。														
取組内容及び成果	<p>1 伝統芸能保存伝承事業</p> <p>地域において伝統芸能の保存団体等が行う保存伝承活動に対し、補助金を交付した。</p> <p>(1) 交付団体数 1団体（北川毛伝統芸能保存会） 6,826円</p> <p>※ 総津獅子舞、岩谷口獅子舞は、申請後に新型コロナウイルス感染症の影響により活動を中止。</p> <p>【参考】町内伝統芸能団体</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">団体名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩谷口獅子舞保存会（岩谷口）</td> <td>宮内獅子舞保存会（宮内）</td> </tr> <tr> <td>総津獅子舞保存会（総津）</td> <td>本村獅子舞（高市）</td> </tr> <tr> <td>北川毛伝統芸能保存会（北川毛）</td> <td>鴨滝獅子舞（高市）</td> </tr> <tr> <td>満穂万歳保存会（満穂）</td> <td>高市舎儀利（高市）</td> </tr> </tbody> </table>					団体名		岩谷口獅子舞保存会（岩谷口）	宮内獅子舞保存会（宮内）	総津獅子舞保存会（総津）	本村獅子舞（高市）	北川毛伝統芸能保存会（北川毛）	鴨滝獅子舞（高市）	満穂万歳保存会（満穂）	高市舎儀利（高市）
	団体名														
岩谷口獅子舞保存会（岩谷口）	宮内獅子舞保存会（宮内）														
総津獅子舞保存会（総津）	本村獅子舞（高市）														
北川毛伝統芸能保存会（北川毛）	鴨滝獅子舞（高市）														
満穂万歳保存会（満穂）	高市舎儀利（高市）														
<p>2 地域の祭り・行事等調査</p> <p>本町に伝承されている伝統的な祭り、行事の現状及び特徴、変容の実態を把握し記録するため、愛媛県と協力し調査を実施した。</p> <p>(1) 調査体制 調査員3名による調査（調査員は町が推薦し、県が任命）</p> <p>(2) 記録事例 76事例</p>															
自己評価	B	評価理由	昨年度に引き続きコロナ禍で地域の祭りや行事が停滞したが、県と協働して、地域の祭りや行事を調査し、記録に留めることができたことで、概ね目標とする成果であった。												
方向性	維持														
課題	地域文化の保存伝承方針の明確化														
課題に対する取組	文化財保存活用計画を策定する。														

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。				
主要施策	文化・芸術活動への参加促進				
事業No.	34	事業名	文化・芸術活動の人材発掘及び育成事業	決算額	35,511円
事業目的	文化・芸術活動に携わる人材や指導者を発掘し、及び育成することによって、文化・芸術活動への参加者の拡大を図る。				
取組内容及び成果	1 文化功労者の表彰 文化功労賞推進委員会で審議・選考を行い、3人を表彰した。				
		年度	功労者	区分	内容
		3年度	山田邦男氏	文化財保護	砥部焼伝統産業会館館長及び文化財保護審議会委員の職務を通じ文化の保存伝承、普及等に貢献
			戸田正和氏	文化財保護	文化財としての樹木の学術調査や適正管理に関し、専門的な助言を行うなど文化財保護に貢献
			森永とめ子氏	芸術文化	創作活動やボランティア活動など幅広い活動を通じて文化活動の振興・発展に貢献
自己評価	B	評価理由	本町の文化の向上や発展に特に著しい功績のあった者について、適正に顕彰することができたことにより、概ね目標とする成果であった。		
方向性	維持				
課題	客観的で適切な候補者の選定				
課題に対する取組	潜在候補者の調査及び客観的な表彰基準を作成する。				

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	公民館係	
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。					
主要施策	文化・芸術活動を通じた交流の推進					
事業No.	35	事業名	学習発表会		決算額	780,072円
事業目的	文化イベントを充実させるとともに、文化交流事業の開催などにより、地域に根ざした個性豊かな文化を創造する。					
取組内容及び成果	<p>1 芸術文化フェスタ</p> <p>(1) 吟詠大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催日 11月20日（土） 参加者 90人</li> </ul> <p>(2) みなくる芸能発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催日 11月21日（日） 参加者 289人</li> <li>・ 内 容 とべっ子文化の広場教室生等による芸能発表会（一般参加者を含む）</li> <li>教室 大正琴、箏曲、尺八、歌謡、体操、民謡</li> <li>一般 オカリナ、歌謡、和太鼓、ダンス、太極拳、民話劇、紙芝居</li> <li>砥部小学校児童による獅子舞</li> </ul> <p>(3) 展示部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催日 11月20・21日 展示数 759点 来場者 延べ1,731人</li> </ul> <p>(4) 囲碁・将棋大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催日</li> <li>囲碁 11月20日 参加者 11人</li> <li>将棋 11月21日 参加者 9人</li> </ul>					
自己評価	B	評価理由	芸術文化フェスタでは、みなくる芸能発表会や作品展示等において、とべっ子文化の広場教室生を中心として、日頃の練習や教室で学んだ成果を披露する場を提供した。また、各種芸術文化団体の発表や作品展示を通して、地域住民へ芸術文化活動に接する機会を提供することができたため、概ね目標とする成果であった。			
方向性	維持					
課題	芸術文化フェスタの活性化					
課題に対する取組	展示にテーマを持たせる等、展示方法の改善と合わせて体験型イベントを導入して、教室への参加を促す。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係	
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。					
主要施策	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進					
事業No.	36	事業名	社会体育推進事業		決算額	1,899,483円
事業目的	誰もがスポーツに取り組みやすい環境を整備し、住民のスポーツ習慣の定着を図る。					
取組内容及び成果	1 町内各種スポーツ大会（スポーツ協会委託事業）					
	大会名		開催日	3年度	2年度	
	ソフトテニス大会		5月16日	中止	中止	
	バレーボール大会		6月13日	中止	中止	
	卓球大会		6月27日	12チーム 103人	中止	
	軟式野球大会		7月25日	16チーム 326人	21チーム 394人	
	ソフトボール大会		8月29日	中止	32チーム 527人	
	レクバレー大会		9月12日	中止	中止	
	バドミントン大会		10月24日	24チーム 185人	33チーム 251人	
	インディアカ大会		11月21日	中止	中止	
	テニス大会		12月5日	15チーム 109人	18チーム 132人	
	計			67チーム 723人	104チーム 1,304人	
	2 町内各種スポーツ大会（スポーツ協会事業）					
	大会名		開催日	3年度	2年度	
女子ミニバス大会		10月31日	6チーム 92人	4チーム 47人		
ソフトボール大会		11月27日	4チーム 39人	2チーム 23人		
男子ミニバス大会		3月26日	中止	中止		
合計			10 131人	6チーム 70人		
自己評価	B	評価理由	新型コロナウイルス感染症の影響により6大会が中止となったが、延べ854人が参加した。コロナ禍においても感染対策を実施し住民の相互交流の機会を提供することができたため、概ね目標とする成果であった。			
方向性	維持					
課題	スポーツ人口の増加					
課題に対する取組	多くの世代が参加できるよう、大会種目や競技方法を見直す。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係																																																																																		
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。																																																																																						
主要施策	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進																																																																																						
事業No.	37	事業名	社会体育施設管理		決算額	22,006,715円																																																																																	
事業目的	安全で快適にスポーツ活動を行える環境を住民に提供する。																																																																																						
取組内容及び成果	1 社会体育施設の利用状況			2 陶街道ゆとり公園及び田ノ浦町民広場の利用状況																																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用者数</th> <th>利用日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砥部中学校 グラウンド</td> <td>2,869人</td> <td>69日</td> </tr> <tr> <td>体育館</td> <td>4,288人</td> <td>170日</td> </tr> <tr> <td>武道場</td> <td>3,515人</td> <td>179日</td> </tr> <tr> <td>砥部小学校 グラウンド</td> <td>3,503人</td> <td>139日</td> </tr> <tr> <td>体育館</td> <td>6,087人</td> <td>155日</td> </tr> <tr> <td>宮内小学校 グラウンド</td> <td>3,984人</td> <td>148日</td> </tr> <tr> <td>体育館</td> <td>3,318人</td> <td>77日</td> </tr> <tr> <td>麻生小学校 グラウンド</td> <td>2,771人</td> <td>139日</td> </tr> <tr> <td>体育館</td> <td>6,543人</td> <td>168日</td> </tr> <tr> <td>大南町民広場</td> <td>4,929人</td> <td>139日</td> </tr> <tr> <td>ひろた町民グラウンド</td> <td>717人</td> <td>31日</td> </tr> <tr> <td>広田小学校 体育館</td> <td>180人</td> <td>6日</td> </tr> <tr> <td>玉谷町民体育館</td> <td>355人</td> <td>49日</td> </tr> <tr> <td>高市町民グラウンド</td> <td>240人</td> <td>3日</td> </tr> <tr> <td>高市町民体育館</td> <td>240人</td> <td>3日</td> </tr> <tr> <td>岩谷口プール</td> <td colspan="2">中止</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>43,539人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			施設名	利用者数	利用日数	砥部中学校 グラウンド	2,869人	69日	体育館	4,288人	170日	武道場	3,515人	179日	砥部小学校 グラウンド	3,503人	139日	体育館	6,087人	155日	宮内小学校 グラウンド	3,984人	148日	体育館	3,318人	77日	麻生小学校 グラウンド	2,771人	139日	体育館	6,543人	168日	大南町民広場	4,929人	139日	ひろた町民グラウンド	717人	31日	広田小学校 体育館	180人	6日	玉谷町民体育館	355人	49日	高市町民グラウンド	240人	3日	高市町民体育館	240人	3日	岩谷口プール	中止		合計	43,539人		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用者数</th> <th>利用日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多目的広場</td> <td>7,548人</td> <td>146日</td> </tr> <tr> <td>テニスコート</td> <td>12,404人</td> <td>220日</td> </tr> <tr> <td>わんぱく広場</td> <td>14,509人</td> <td>175日</td> </tr> <tr> <td>体育館</td> <td>30,222人</td> <td>197日</td> </tr> <tr> <td>グラウンドゴルフ場</td> <td>2,080人</td> <td>158日</td> </tr> <tr> <td>武道場</td> <td>8,424人</td> <td>187日</td> </tr> <tr> <td>田ノ浦町民広場</td> <td>2,973人</td> <td>64日</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>78,160人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			施設名	利用者数	利用日数	多目的広場	7,548人	146日	テニスコート	12,404人	220日	わんぱく広場	14,509人	175日	体育館	30,222人	197日	グラウンドゴルフ場	2,080人	158日	武道場	8,424人	187日	田ノ浦町民広場	2,973人	64日	合計	78,160人	
	施設名	利用者数	利用日数																																																																																				
	砥部中学校 グラウンド	2,869人	69日																																																																																				
	体育館	4,288人	170日																																																																																				
	武道場	3,515人	179日																																																																																				
	砥部小学校 グラウンド	3,503人	139日																																																																																				
	体育館	6,087人	155日																																																																																				
	宮内小学校 グラウンド	3,984人	148日																																																																																				
	体育館	3,318人	77日																																																																																				
	麻生小学校 グラウンド	2,771人	139日																																																																																				
	体育館	6,543人	168日																																																																																				
	大南町民広場	4,929人	139日																																																																																				
	ひろた町民グラウンド	717人	31日																																																																																				
	広田小学校 体育館	180人	6日																																																																																				
	玉谷町民体育館	355人	49日																																																																																				
	高市町民グラウンド	240人	3日																																																																																				
	高市町民体育館	240人	3日																																																																																				
	岩谷口プール	中止																																																																																					
	合計	43,539人																																																																																					
施設名	利用者数	利用日数																																																																																					
多目的広場	7,548人	146日																																																																																					
テニスコート	12,404人	220日																																																																																					
わんぱく広場	14,509人	175日																																																																																					
体育館	30,222人	197日																																																																																					
グラウンドゴルフ場	2,080人	158日																																																																																					
武道場	8,424人	187日																																																																																					
田ノ浦町民広場	2,973人	64日																																																																																					
合計	78,160人																																																																																						
<p>社会体育施設は年間43,539人の利用があり、対前年比で26,527人減少した。指定管理施設は、年間78,160人の利用があり、対前年比39,077人減少した。コロナ禍の影響による臨時休館等の対応によりいずれも利用者減となっている。</p>																																																																																							
3 主な修繕工事																																																																																							
<ul style="list-style-type: none"> <li>田ノ浦町民広場防球ネット一部張替工事 4,620,000円</li> <li>陶街道ゆとり公園あすなる山複合遊具修繕工事費 5,555,000円</li> </ul>																																																																																							
自己評価	B	評価理由	修繕等適正な維持管理により利用者の安全確保や利便性の向上に努め、住民に安定的かつ継続的に利用してもらえており、概ね目標とする成果であった。																																																																																				
方向性	維持																																																																																						
課題	施設の老朽化対策																																																																																						
課題に対する取組	事業規模の平準化等を考慮し、計画的に実施する。																																																																																						

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係	
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。					
主要施策	地域における指導者の確保及び育成					
事業No.	38	事業名	スポーツ指導者確保及び育成		決算額	1,631,500円
事業目的	スポーツ団体と連携して、スポーツ活動の活性化及びスポーツへの参加人口の拡大を図る。					
取組内容及び成果	<p>1 町スポーツ推進委員                      スポーツの実技指導やスポーツ活動の企画・推進等を目的にスポーツ推進委員を委嘱し、町体育事業への協力や、新しいスポーツ種目の検討、スポーツの指導等を行うための研修を行った。</p> <p>(1) 町スポーツ推進委員 12人                      (2) スポーツ推進委員会 5回                      (3) はじめてのウォーキング講習会参加(10月2日) 3人                      (4) 各種スポーツ大会運営協力 1回</p> <p>2 町スポーツ協会(連携事業)                      町スポーツ協会と連携し、スポーツ大会の運営等を協会の専門部会など地域の力に任せ実施することで、スポーツ事業の企画・運営等を行う地域スポーツの担い手の確保・育成に努めた。</p> <p>(1) 町スポーツ協会への委託大会 4大会 ※5大会が感染症の影響で中止</p> <p>3 少年スポーツ団体の育成支援                      スポーツ少年団等の活動を支援し、次世代のスポーツ推進の担い手の育成に努めた。</p> <p>(1) スポーツ少年団等育成事業費補助金(15団体) 750,000円                      (2) スポーツ少年団陶街道ゆとり公園武道場利用補助金(4団体) 257,500円                      ※ 町スポーツ少年団等 15団体</p>					
自己評価	B	評価理由	新型コロナウイルス感染拡大によりスポーツをする機会が減少したものの、開催した大会やスポーツ少年団等の活動の中で、スポーツ推進委員やスポーツ協会と連携協力して、スポーツ指導者等の担い手育成を行い、概ね目標とする成果であった。			
方向性	維持					
課題	スポーツ推進員の効果的な活用及び町スポーツ協会との連携					
課題に対する取組	スポーツ推進員を地域に派遣し地域スポーツを振興するとともに、町と町スポーツ協会との役割を明確にし、協働して指導者を育成し確保する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

所管課名		社会教育課		担当係		文化スポーツ係											
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。																
主要施策	スポーツを通じた交流の拡大																
事業No.	39	事業名	レクリエーションスポーツ推進事業			決算額	2,245,847円										
事業目的	住民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ事業に参加し、住民同士の交流を深める機会を提供する。																
取組内容及び成果	1 レクリエーションスポーツ大会の開催																
	大会名		開催日	3年度参加者		2年度参加者											
	クロッケー大会		7月3日	21チーム	71人	中止											
	スポーツまつりinとべ		10月10日	中止		<table border="1"> <tr> <td colspan="2">中止</td> </tr> <tr> <td>20チーム</td> <td>216人</td> </tr> <tr> <td>39チーム</td> <td>117人</td> </tr> <tr> <td>15チーム</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>9チーム</td> <td>28人</td> </tr> </table>		中止		20チーム	216人	39チーム	117人	15チーム	90人	9チーム	28人
	中止																
	20チーム	216人															
	39チーム	117人															
	15チーム	90人															
	9チーム	28人															
	綱引き																
	ベタンク																
	グラウンドゴルフ																
	スポーツウエルネス吹矢																
	ジュニア駅伝大会		1月22日	中止		中止											
	駅伝の部																
マラソンの部																	
ウォークラリー大会		2月27日	中止		中止												
2 東京オリンピック・パラリンピック関連イベントの開催																	
(1) 東京オリンピック聖火リレー																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 4月22日</li> <li>コース 国道33号線の約1.2km（県運動公園交差点から麻生交差点）</li> <li>走者 6人（町選出2人、スポンサー枠4人）</li> </ul>																	
(2) 東京パラリンピック聖火フェスティバル（聖火ビジット）																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 8月12日</li> <li>場所 中央公民館講堂</li> <li>内容 聖火ランタン展示、障がい者スポーツ用具展示、パラリンピック関係映像の上映など</li> </ul>																	
自己評価	B	評価理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により3大会を中止したが、実施した大会は、71人の参加があった。コロナ禍においても感染対策を実施し住民の相互交流の機会を提供することができたため、概ね目標とする成果であった。														
方向性	維持																
課題	レクリエーションスポーツに、多様な世代の住民が参加しやすい環境の整備																
課題に対する取組	アンケート調査等を行い、住民ニーズを捉えて種目を選定する等、事業の見直しを図る。																

# 令和4年度【令和3年度事業】砥部町教育委員会点検評価報告書

## －外部評価意見－

令和4年8月15日

評価者：金井 宏之

◆未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します。

主要施策	子どもを産み育てやすい環境整備
------	-----------------

### 【意見】

- 就学援助事業・・・入学説明会等で全保護者に説明を行い、事業の周知徹底を図るなど、年々充実してきている。課題にもあるように、真に援助を必要としている家庭に適正に援助することが大切であり、チェックリストの作成など漏れのない支給事務を行う必要がある。近年、就学援助の支給対象者は増加傾向にあり、今後も予算確保に努めていただきたい。
- 教育活動支援事業・・・小学校(大三島少年自然の家)、中学校(大洲青少年自然の家)が郊外で実施する集団宿泊活動に要する経費や、中学校の部活動における選手派遣に要する経費が十分に助成されており、児童・生徒が参加しやすい環境への支援と保護者への経済的負担の軽減が図られている。今後も予算確保に努めていただきたい。
- 奨学資金貸与事業・・・経済的理由によって就学困難な学生・生徒にとってかけがえのない事業である。昨年度より4人多い申請者11人が取得でき、就学の機会が確保できている。例年希望者があることから、ぜひ継続していただきたい。
- 幼児教育推進事業・・・幼稚園教育は、豊かな心の育成、健康でたくましい体づくり、考える力の育成をめざし努力していくことが目標である。町内の幼稚園では、コロナ禍により活動が制限される中、コロナ対策を図りながら、園児の成長のために指導の工夫や環境づくりがなされている。また、教職員の積極的な研修により、コロナ禍での有意義な活動はどうあるべきかなど指導の向上に努力されている。入園児数の減少傾向を防ぐためには、保育所では味わえない取り組み、例えば、幼児期にふさわしい環境づくりや生きる力の基礎を培う保育の在り方などについての話し合いや地域への啓発活動を行っていただきたい。

主要施策	子どもの健やかな成長支援の充実
------	-----------------

### 【意見】

- 保健対策事業・・・児童・生徒及び教職員が、心身ともに健康で安全な学校生活を送るためには、病気等の早期発見や予防に努めることが大切である。新型コロナウイルス感染防止対策を講

じながら、児童・生徒の健康安全に努めていることが伺える。また、教職員については、健康診断やストレスチェックの実施、個別の保健指導や病院での受診体制が整っていることはありがたい。学校生活がより活性化していくためにも、ぜひ継続していただきたい。さらに、各小中学校においては、思春期教室を開催し、子どもの健やかな成長支援充実の一助になっている。

○特別支援教育推進事業・・・特別な教育的支援を必要とする幼児及び児童・生徒の数は、年々増加傾向にある。今後も、教育支援委員会、巡回相談、特別支援連携協議会の活動の充実、各学校・園の校内体制の活性化をさらに図っていただきたい。学校生活支援員の適切な配置により、支援を要する子どもたちへのサポートが充実し、保護者の不安解消や教職員の負担軽減に大いにつながっている。今後も、適切な人材確保に努めていただきたい。

○運動・体力向上推進事業・・・小学校における水泳大会や陸上競技大会は、児童にとって健康や体力の向上、強い心の育成などに効果があり、教職員にとっては指導力の向上に大きな役割を果たしているため、ぜひ次年度も実施していただきたい。中学校については、運動部活動の方針を定め、休養日を設定するなど生徒の心身の負担軽減やけがの防止、教職員の長時間労働の抑制を図ることができたことの意義はとても大きい。

○地域の特性を生かす教育推進事業・・・砥部町は自然や文化などが豊かな町である。ふるさと砥部の良さを再認識し、ふるさとを愛し、誇りに思う児童・生徒を育成するためには、それぞれの地域の特性をもった教育を推進していかなければならない。地域の特性を生かした特色ある教育活動を積極的に行うために、今後も助成金の交付を継続していただきたい。また、課題にもあるように、我々が幸せに生きていける社会を目指していくためにも、SDGs(持続可能な開発目標)を意識した学習活動の推進に努めていただきたい。

主要施策	生きる力を育む教育の推進
------	--------------

#### 【意見】

○キャリア教育推進事業・・・砥部中学校では「えひめジョブチャレンジU-15事業」と称して、中学2年生を対象に実施している。この事業で望ましい勤労観や職業観を育成するとともに、生徒にとって地元で働く魅力をより強く感じたことと思われる。コロナ禍の影響で実施困難な中、協力事業所が18社と3倍に増加したことは大変ありがたいことである。キャリア教育の推進が叫ばれている今日、今後も直接現場に出向いての職場体験学習が実施できるよう積極的に進めていただきたい。

○学校給食運営事業・・・園児、児童、生徒に対し、栄養豊かな給食を提供することができている。また、専門業者による施設の定期点検や食物アレルギーへの対応が行われ、事故なく安全・

安心な給食の提供ができていることは大変ありがたい。人員不足で大変ではあるが、子どもたちや保護者のために、職員や調理員が協力し合って頑張っていたきたい。

主要施策	教育力の向上
------	--------

#### 【意見】

- 校務支援・業務改善事業・・・教職員の校務環境の改善や指導力改善のためのE S ネットの活用、教職員の負担軽減につながるスクール・サポート・スタッフの配置等、教職員の勤務時間に対する意識改革の一助となっている。今後も継続していただきたい。
- 教職員研修事業・・・研修は教職員の指導力の向上等を図る上で絶対に欠かすことはできない。コロナ禍の影響で、予定していた研修がやむなく中止され残念ではあるが、各校とも実施回数が増加していることは大変ありがたい。課題にもあるように、オンライン研修や対面研修で積極的に実施していただきたい。
- 学力向上推進事業・・・コロナ禍ではあるが、学力診断テストや学力向上推進委員会が実施できたことはありがたい。調査結果を分析後、児童・生徒に家庭学習用のプリントの配布を行い家庭学習の強化に努めるなど、学力の維持に努め成果を上げている。
- 情報教育推進事業・・・GIGA スクール構想の実現や小・中学校にタブレット端末が完全整備されたこと、また、ICT 支援員の配置は、子どもたちにとって情報活用能力の向上や学習意欲の向上に大いに役立つと考える。今後、タブレットを使った学習形態や活用技術の向上と教職員間の格差是正に向けての職員研修を進めていただきたい。
- 外国語教育推進事業・・・小学校での英語の教科化に伴い、3名の外国語指導助手を配置し、児童が生きた英語に接する機会や外国語活動・英語教育を充実させるために効果を上げている。また、中学生英語検定料の助成により、英語検定にチャレンジする生徒の増加と上位級をチャレンジする生徒の増加が望まれる。
- いじめ・不登校等対策事業・・・いじめや不登校などの問題を抱える児童・生徒の不安の軽減や問題の早期発見・未然防止のため、ハートなんでも相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置により成果が上がっている。児童・生徒の健全育成を図っていくためにも、ハートなんでも相談員等の配置を継続していただきたい。
- 山村留学センター運営事業・・・決まった期間を親元から離れて山村で集団生活を行い、その地域にある学校に通うこの制度は、1992年に開設されて30年と長い歴史をもつ。豊かな自然の中で、さまざまな自然体験や農業体験をすることによって子どもの生きる力を育むことができる事業である。令和3年度もコロナ禍の影響で活動が制限されたものの、運営方法の

見直しや新規事業への取り組みなど成果を上げている。また、入所児童は減少傾向にあるが、留学児童の確保を検討し、本事業をぜひ継続していただきたい。

- 学校間連携推進事業・・・校長がリーダーシップを発揮し、学校の教育力を図るために、町内の校長と教育委員会や中子教育事務所との連携のための校長会は不可欠である。砥部町共同学校事務室の運営については、学校事務処理の平準化や効率化に大きな成果がみられる。

主要施策	安全・安心の充実した教育環境の整備
------	-------------------

#### 【意見】

- 学校施設整備・維持管理(事業 No.20 小学校校舎等大規模改修工事を含む)・・・宮内小学校の校舎等大規模改修工事の完了や麻生小学校のブロック塀改修工事等、子どもたちや教職員にとってより快適な学習環境で活動を行うことができるよう施設が適切に管理されている。砥部町の積極的な対応に感謝したい。今後もまだ残っているトイレの洋式化やバリアフリー化等の課題について、より安全で快適な環境整備に努めていただきたい。
- 学校安全対策事業・・・通学路安全対策プログラムに基づいた通学路の安全対策事業や青色防犯パトロール等の防犯対策事業が適切に実施されており、子どもたちの安全確保が図られている。また、昨年コロナ禍で中止していた砥部町防災教育推進連絡が開催され、各校の防災力の向上等が図られている。今後もぜひ継続していただきたい。
- 感染症対策事業・・・新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、モニタ型AIサーマルカメラやアルコールディスペンサー等の配布と学校の積極的な活用で大いに成果を上げている。未だに終息しない新型コロナウイルス感染症を、今後も学校、家庭、教育委員会が常に連携し、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう努力を続けていただきたい。

#### ◆身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。

主要施策	ニーズに合わせた学習機会の充実
------	-----------------

#### 【意見】

- 国際交流事業・・・「国際交流サマースクール」は、町内外の小学生や世界各国の留学生たちが自然の中での触れ合いや様々な体験を通して、互いの言葉や文化のよさを理解するとともに、新しい自分の発見や留学生との友情が深まる貴重な場となっている。今後もぜひ継続していただきたい。「シヨパンビレッジフェスティバル in 砥部町」は、音楽に触れることで豊かな情操や感性が養われ、町民が普段聴くことの難しい一流音楽に親しむことができる事業である。今後も様々な音楽に親しむことのできる内容への検討を含め、ぜひ継続していただきたい。

- 公民館活動事業・・・コロナ禍の影響で縮小や中止を余儀なくされた事業もあるが、地域住民の意見を反映した様々な遊びの場や学びの場が提供できている。今後も住民のニーズを的確に把握しながら事業改善を行い、活性化を図っていただきたい。

主要施策	活動の場づくりと担い手の充実
------	----------------

【意見】

- 文化会館・図書館管理運営・・・文化会館は、コロナ禍の影響で一時休館があったが、コロナ感染対策と適正な管理運営がなされ、利用者数は昨年度より約 3,000 人増えた。今後も、利用者が安心して快適に利用できる施設として継続していただきたい。図書館は、一時閉館により利用者や貸し出し冊数が減少しているが、読書活動が気軽にできる身近な施設である。「おはなし会」など、7つの事業は子どもたちの読書意欲を高めている。令和2年2月から始めた「読書記録帳」は登録者数が前年の3倍になり、成果が上がっている。読書活動の充実のためにも本事業を継続していただきたい。
- 公民館施設管理・・・3つの施設ともに、充実した公民館運営に努め、利用者により安全で快適な環境を提供できている。千里地区公民館の利用者がやや少ないのは残念であるが、今後も安全で利便性のある施設を目指し頑張りたい。
- 青少年健全育成事業・・・コロナ禍の影響でやむなく制限された活動があったが、登校指導や街頭補導などの「青少年育成センター」の活動は、子どもたちの健全育成や非行防止に大きく貢献できている。今後も関係諸機関が連携を密にし、活動を継続していただきたい。ボランティア事業である「とべっ子志縁倶楽部」は、町内の小中学校の放課後学習支援や登下校見守り活動など、児童・生徒の学力向上や安全確保に貢献している。新事業「とべの里冒険クラブ」を立ち上げてボランティアリーダー養成を実施されたことは、今後の青少年健全育成に大いに役立つと思われる。今後もぜひこれらの事業を継続していただきたい。

主要施策	互いの人権を尊重する社会の構築
------	-----------------

【意見】

- 人権教育・人権対策推進事業・・・人権教育については、砥部町民一人ひとりの人権意識の高揚を図り、様々な人権問題の解消のため、人権に関する研修会や講座の実施、紙面等を利用した人権啓発活動を継続して実施することが大切である。令和3年度はコロナ禍の影響で、人権の町づくり集会の縮小や人権教育巡回学習会が実施できなかった地区があったが、今後も、町民一人ひとりが気軽に参加できるようさらに広く周知し、参加者の拡充に努めていただきたい。また、課題にもあるように、企業における人権研修については、様々なハラスメント

や障害を理由とする差別や偏見などの人権課題が存在している可能性があり、ぜひ進めていただきたい。

主要施策	男女共同参画の推進
------	-----------

【意見】

- 女性団体育成支援事業…研修会への参加や町内6つの各種団体との交流を通して、社会参画に対する意識向上や団体の問題解決を図るための活動ができています。コロナ禍の影響で、実施や参加予定の事業をやむなく中止せざるを得なくなりましたが、男女が相互の立場を尊重し、協力し合って活躍できる社会実現のため、今後も引き続き積極的な支援活動をお願いしたい。

主要施策	文化財保護と継承
------	----------

【意見】

- 文化財保護事業…町内に現存する文化財は、ふるさと砥部の貴重な財産である。文化財保護審議会の開催や砥部焼窯跡調査など積極的な実施、愛媛大学など関係機関と連携した調査研究を行い、文化財保護に努められている。これまで以上に、調査研究や文化財保護に努めていただきたい。

主要施策	文化財の活用
------	--------

【意見】

- 文化財の活用…学芸員を中心に企画している歴史講座の開催や町文化財めぐりを通して、砥部町の文化や歴史を学ぶことができる事業である。今後も開催していただきたい。町文化会館にある井上正夫資料室の利用者の増加に向け、より魅力ある展示室を目指していただきたい。また、新しく大南にできたミュージアムとして故郷の歴史を再現している「砥部むかしのくらし館」のPRも積極的に行っていただきたい。
- 坂村真民記念館…毎年工夫した特別展や企画展を定期的で開催したことで、記念館のPRに努める事業となっている。コロナ禍の影響で入館者数が減少したが、開館10周年記念イベントを実施するなど町内外に広くPRすることができている。今後も真民氏の業績を永く後世に伝えるため、魅力ある記念館づくりやより一層の広報活動を進めていただきたい。

主要施策	地域伝統文化の継承
------	-----------

【意見】

- 地域伝統文化保存伝承事業・・・伝統芸能である獅子舞や万歳などの保存伝統活動を行っている団体への補助金交付は、伝統芸能保存の一助となっている。コロナ禍の影響で、活動を行わなかった団体もあるが、発表できる場の確保や記録保存をすることで、後継者不足の解消や伝統芸能の継承につながっていくものと思われる。

◆文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。

主要施策	文化・芸術活動への参加促進
------	---------------

【意見】

- 文化・芸術活動の人材発掘及び育成事業・・・毎年顕彰している「文化功労章表彰」事業は、砥部町の文化の向上や発展に大きく貢献できている。今後も継続していただきたい。

主要施策	文化・芸術活動を通じた交流の推進
------	------------------

【意見】

- 学習発表会・・・例年実施している「吟詠大会」や「みなくる芸能発表会」の芸術文化フェスタは、日頃の練習の成果を発表できる場であり、砥部町住民が各種の芸術文化に触れることのできる場である。また、各種団体の交流や連携を図ることができるため、ぜひ継続していただきたい。

主要施策	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
------	----------------------

【意見】

- 社会体育推進事業・・・町内各種スポーツ大会は、コロナ禍の影響で中止された大会があるものの1,000人近くの参加があり、住民の生涯スポーツへの意識の高揚や活動の定着が図られている。今後もより多くの世代の住民が参加できる種目や方法を検討しながら、ぜひ継続していただきたい。
- 社会体育施設管理・・・コロナ禍の影響で利用者数は減少しているが、地域住民が安全に楽しくスポーツ活動ができるよう施設設備の管理運営がなされている。特に、ゆとり公園や田ノ浦町民広場の修繕工事を含め、点検・修繕が積極的に行われていることは大変ありがたい。

主要施策	地域における指導者の確保及び育成
------	------------------

【意見】

- スポーツ指導者確保及び育成・・・12人のスポーツ推進委員の大会参加者への適切な指導助言や町スポーツ協会との連携で、砥部町のスポーツの推進に貢献できている。より推進を図るために、指導者の確保・育成及びスポーツ協会との連携は欠かせない。また、スポーツ少年団等の育成支援は次世代の担い手育成に効果があるので、ぜひ続けていただきたい。

主要施策	スポーツを通じた交流の拡大
------	---------------

【意見】

- レクリエーションスポーツ推進事業・・・コロナ禍の影響で、クロッケー大会のみの開催であったが、参加者がレクリエーションスポーツを楽しむことができ、人と人をつなぐ良き交流の場となっている。今後もぜひこの事業を継続していただきたい。